# 明治学院広報

## 2020年度 事業報告書

白金キャンパス　記念館

学校法人 明治学院

# ２０２０年度を振り返って

学校法人　明治学院
理事長　山﨑　雅男

2020年度は新型コロナウイルス感染症が世界的規模で拡大し、2月27日に全国の小中高に一斉休校が要請され、さらに4月7日には緊急事態宣言が発出されました（5月25日解除）。この間に明治学院では教職員の献身的な取り組みによってオンラインを活用した遠隔授業を開始し、各校の授業に遅れが出ないよう教育水準の維持・向上に努めることができました。

明治学院は、米国人宣教医師ヘボン博士が1863年（江戸時代末期の文久3年）に横浜の自宅に開設したヘボン塾を源流とするわが国の私立学校の中でも最も長い歴史を有する学校の一つであり、2020年には創立157周年を迎えました。創立以来のキリスト教に基づく人格教育を永く堅持し続け、今や1中学校、2高校、1大学（6学部16学科・7研究科12専攻）から成る総合的な学園に発展し、2020年度には14,122名（2020年5月1日現在）を数える生徒･学生を擁しつつ、教育・研究の向上に努めてきたところです。

2020年度を通じて学院の歩みを振り返ってみますと、明治学院の教育・研究に対する社会からの期待が確実に高まってきていることを感じます。中でも2020年度に行われた事業について幾つかの特筆すべきことがありました。

第一点は、明治学院に流れる教育理念を確認・発展させるため、2015年度に策定した「明治学院教育ビジョン」に基づいて中学校、高校、大学が目指す生徒像、学生像を明らかにし、中高大教職員からなる5つの推進チームが中期計画（2020年度～ 2024年度）における行動目標を設定したうえで具体的取り組みに向かって精力的に活動してまいりました。

第二点は、2020年4月1日に施行された私立学校法の改正に伴い、学院寄附行為を改正し役員の職務と責任の明確化を図るとともに、学院の中期計画（2020年度～ 2024年度）がスタートしました。

第三点は、大学での中長期計画「MG DECADE VISION」の第1期後半を3つの重点政策（グローバルマインド、ボランティアスピリッツ、キャリアデザイン）に基づいて推進したことです。

第四点は、コロナ禍において学生へのサポート体制および学業支援を強化したことです。学生にオンライン環境の整備をお願いする緊急支援として一律5万円を支給したほか、家計が急変し勉学の継続に支障をきたした学生を対象に、「新型コロナウイルス感染症対応給付奨学金」および「私費外国人留学生緊急給付金（新型コロナウイルス感染症対応）」を支給しました。そこで「明治学院大学チャレンジ奨学金募金」に第4番目の目的（「新型コロナウイルス感染症対応給付奨学金のため」）を加え、募集期間を2024年3月まで延長しました。

各学校における具体的な事業内容については、「2020年度事業報告書」をご高閲賜れば幸いです。

報告の締め括りにあたり、2020年度中にいただきました学外の方々からのご支援と、教職員のご尽力に深く感謝申し上げますとともに、これからも引き続き絶大なご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

# 目　　次

第１章　学校法人明治学院の概要
１．明治学院の建学の精神と沿革…… 1
２．設置する学校の学部学科名・開設年度・入学定員・
入学者数・収容定員・現員…… 2
３．設置する学校の所在地・キャンパス面積・校舎面積…… 3
４．学生・生徒等納付金…… 4
５．設置する学校の役員・評議員・教職員数…… 6

第２章　2020年度事業の概要
１．法　人
⑴　事業計画…… 8
⑵　事業計画の進捗状況…… 8
２．明治学院大学
⑴　事業計画…… 15
⑵　事業計画の進捗状況…… 15
⑶　教育研究の概要…… 20
⑷　管理運営の概要…… 22
３．明治学院高等学校
⑴　事業計画…… 23
⑵　事業計画の進捗状況…… 23
４．明治学院中学・東村山高等学校
⑴　事業計画…… 30
⑵　事業計画の進捗状況…… 30

第３章　2020年度財務の概要と経年比較（2016年度～ 2020年度）
１．財産目録…… 38
２．貸借対照表…… 39
３．資金収支計算書…… 40
４．活動区分資金収支計算書…… 41
５．事業活動収支計算書…… 42
６．財務比率検証…… 43
７．監事による監査報告書…… 44

# 第１章　学校法人明治学院の概要

## １．明治学院の建学の精神と沿革

### ⑴　明治学院の建学の精神

学校法人明治学院の寄附行為には、「この法人は、教育基本法および学校教育法に従い、福音主義のキリスト教に基づいて、教育事業を経営することを目的とする」（第3条第1項）と定められている。この法人の起源は、1863（文久3）年に米国人宣教医師ヘボン博士の横浜の住居に開設された「ヘボン塾」にあり、今日の1中学・2高校・大学（6学部　16学科）・大学院（7研究科　12専攻）を擁する総合的な学園にまで発展してきた157年の歩みを一貫して、「キリスト教に基づく人格教育」という建学の精神を堅持しつつ、わが国教育界に独自の寄与を果たしている。

### ⑵　明治学院の沿革

| （年） | （年） | |
|---|---|---|
| 1859 | 安政6 | ・10月 J.C.ヘボン博士神奈川到着、成仏寺に住まう |
| 1863 | 文久3 | ・ヘボン博士横浜で英学塾を開設（ヘボン塾） |
| 1877 | 明治10 | ・米国長老教会などの三ミッションは一致合同して東京一致神学校を創立 |
| 1880 | 明治13 | ・4月 ヘボン塾は築地明石町7番に移転し築地大学校と改称、J.C.バラ校長となる |
| 1881 | 明治14 | ・横浜に先志学校（M.N.ワイコフ校長）を開く |
| 1883 | 明治16 | ・築地大学校（J.C.バラ校長）と先志学校（M.N.ワイコフ校長）は合併して東京一致英和学校となる |
| 1886 | 明治19 | ・4月 東京一致神学校・東京一致英和学校・同予備校の三校合併案成る<br>・6月 明治学院の名称決定　・白金（現在地）に校地購入 |
| 1887 | 明治20 | ・1月 明治学院設置認可　・校地を白金に移す |
| 1889 | 明治22 | ・10月 ヘボン博士、明治学院初代総理に、井深梶之助副総理に就任 |
| 1890 | 明治23 | ・5月 インブリー事件（明治学院と一高との野球試合の際の事件）起こる |
| 1891 | 明治24 | ・11月 井深梶之助第2代総理に就任 |
| 1898 | 明治31 | ・6月 普通学部を尋常中学部とする |
| 1899 | 明治32 | ・8月 文部省訓令第12号が公布され学校内の宗教教育・儀式が禁止された。学院は臨時理事会を開き、宗教教育を維持するため他の基督教主義学校と共に文部省に交渉 |
| 1907 | 明治40 | ・島崎藤村作詞による校歌を制定（作曲　前田久八） |
| 1911 | 明治44 | ・9月 ヘボン博士米国イースト・オレンジにて逝去 |
| 1916 | 大正5 | ・3月 ヴォーリズ建築設計事務所設計による新礼拝堂献堂式挙行 |
| 1925 | 大正14 | ・4月 田川大吉郎第3代総理に就任 |
| 1930 | 昭和5 | ・神学部は学院から分離し、東京神学社と合併して日本神学校設立 |
| 1935 | 昭和10 | ・7月 総理を学院長と改称 |
| 1937 | 昭和12 | ・11月 島崎藤村自筆校歌碑建設 |
| 1949 | 昭和24 | ・明治学院大学設置認可　・4月 大学文経学部開校 |
| 1951 | 昭和26 | ・3月 財団法人から学校法人に組織変更認可 |
| 1952 | 昭和27 | ・4月 中高分離　・大学は文学部、経済学部の二学部に分離 |
| 1955 | 昭和30 | ・大学院文学研究科英文学専攻修士課程設置　・東村山に校地購入 |
| 1962 | 昭和37 | ・4月 大学院文学研究科英文学専攻博士課程開設 |
| 1963 | 昭和38 | ・4月 東村山高等学校開校 |
| 1965 | 昭和40 | ・3月 中学講堂落成　・4月 社会学部独立 |
| 1966 | 昭和41 | ・2月 白金礼拝堂にパイプオルガン設置　・4月 中学、東村山に移転。大学法学部設置 |
| 1968 | 昭和43 | ・10月 大学で立看板撤去破壊事件起る（学園紛争の発端） |
| 1977 | 昭和52 | ・『明治学院百年史』を刊行 |
| 1985 | 昭和60 | ・横浜校舎開校 |
| 1986 | 昭和61 | ・国際学部／国際学科設置 |
| 1989 | 平成1 | ・5月 テネシー明治学院高等部開校 |
| 1990 | 平成2 | ・文学部／芸術学科・心理学科、法学部／政治学科設置 |
| 1991 | 平成3 | ・高校、中学・東村山高校が男女共学に移行 |
| 1996 | 平成8 | ・経済学部／経営学科（商学科を改称）設置 |
| 1998 | 平成10 | ・1月 株式会社明治学院サービス設立　・中学・東村山高校の新校舎完成 |
| 2000 | 平成12 | ・法学部／消費情報環境法学科設置 |
| 2002 | 平成14 | ・大学教養教育センター発足 |
| 2004 | 平成16 | ・心理学部／心理学科、法科大学院設置 |
| 2006 | 平成18 | ・経済学部／国際経営学科設置 |
| 2007 | 平成19 | ・芝浦工業大学と明治学院大学との交流・連携事業が開始　・3月 テネシー明治学院高等部閉校 |
| 2008 | 平成20 | ・2月 礼拝堂の耐震補強と復元・改修工事が完成 |
| 2009 | 平成21 | ・3月 大学高輪校舎の献堂式　・7月 「日本近代音楽館」からの資料寄贈に関する合意書取り交し<br>・10月 新パイプオルガン奉献式（白金礼拝堂） |
| 2010 | 平成22 | ・心理学部／教育発達学科設置 |
| 2011 | 平成23 | ・国際学部／国際キャリア学科設置　・5月 明治学院大学図書館付属日本近代音楽館開館 |
| 2012 | 平成24 | ・3月 大学13号館の献堂式 |
| 2013 | 平成25 | ・12月 創立150周年記念礼拝　・『明治学院百五十年史』を刊行 |
| 2015 | 平成27 | ・4月 大学院「法と経営学研究科」設置　・12月 横浜校舎開校30周年記念式典 |
| 2016 | 平成28 | ・3月「明治学院教育ビジョン」策定　・4月 大学院心理学研究科教育発達学専攻修士課程設置<br>・11月 礼拝堂献堂100周年記念音楽礼拝 |
| 2017 | 平成29 | ・3月 法科大学院廃止 |
| 2018 | 平成30 | ・法学部／グローバル法学科設置 |

## ２．設置する学校の学部学科名・開設年度・入学定員・入学者数・収容定員・現員

（2020 年 5 月 1 日現在）

学校名（所在地）　大学院　文学研究科　経済学研究科　社会学研究科　法学研究科
明治学院大学　心理学研究科　法と経営学研究科
（東京都港区白金台）　学　部　文学部・経済学部・社会学部・法学部・心理学部の３・４年次課程

（神奈川県横浜市戸塚区上倉田町）　大学院　国際学研究科
学　部　文学部・経済学部・社会学部・法学部・心理学部の１・２年次課程　国際学部

| 専攻・学部・学科等名 | 開設年度 | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員 | 現　員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 大学院 | | | | | |
| 文学研究科 | | **38** | **14** | **86** | **52** |
| 英文学専攻　博士（前期）課程 | 1955 | 10 | 1 | 20 | 7 |
| 英文学専攻　博士（後期）課程 | 1962 | 2 | 0 | 6 | 3 |
| フランス文学専攻　博士（前期）課程 | 2000 | 8 | 2 | 16 | 10 |
| フランス文学専攻　博士（後期）課程 | 2003 | 3 | 1 | 9 | 2 |
| 芸術学専攻　博士（前期）課程 | 2001 | 10 | 6 | 20 | 20 |
| 芸術学専攻　博士（後期）課程 | 2003 | 5 | 4 | 15 | 10 |
| 経済学研究科 | | **16** | **3** | **38** | **8** |
| 経済学専攻　博士（前期）課程 | 1960 | 10 | 2 | 20 | 3 |
| 経済学専攻　博士（後期）課程 | 1989 | 3 | 1 | 9 | 2 |
| 経営学専攻　博士（後期）課程 | 1989 | 3 | 0 | 9 | 3 |
| 社会学研究科 | | **25** | **6** | **55** | **20** |
| 社会学専攻　博士（前期）課程 | 1967 | 10 | 2 | 20 | 3 |
| 社会学専攻　博士（後期）課程 | 2006 | 2 | 0 | 6 | 1 |
| 社会福祉学専攻　博士（前期）課程 | 1960 | 10 | 4 | 20 | 11 |
| 社会福祉学専攻　博士（後期）課程 | 2006 | 3 | 0 | 9 | 5 |
| 法学研究科 | | **5** | **2** | **15** | **2** |
| 法律学専攻　博士（後期）課程 | 1972 | 5 | 2 | 15 | 2 |
| 国際学研究科 | | **12** | **4** | **26** | **7** |
| 国際学専攻　博士（前期）課程 | 1990 | 10 | 4 | 20 | 6 |
| 国際学専攻　博士（後期）課程 | 1992 | 2 | 0 | 6 | 1 |
| 心理学研究科 | | **34** | **16** | **72** | **36** |
| 心理学専攻　博士（前期）課程 | 2004 | 20 | 14 | 40 | 27 |
| 心理学専攻　博士（後期）課程 | 2007 | 4 | 0 | 12 | 2 |
| 教育発達学専攻　修士課程 | 2016 | 10 | 2 | 20 | 7 |
| 法と経営学研究科 | | **20** | **18** | **40** | **34** |
| 法と経営学専攻　修士課程 | 2015 | 20 | 18 | 40 | 34 |
| 大　学　院　計 | | **150** | **63** | **332** | **159** |

| 専攻・学部・学科等名 | 開設年度 | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員 | 現　員 |
|---|---|---|---|---|---|
| 学　部 | | | | | |
| 文学部 | 1949 | **505** | **495** | **2,020** | **2,039** |
| 英文学科 | 1949 | 225 | 226 | 900 | 886 |
| フランス文学科 | 1965 | 115 | 108 | 460 | 479 |
| 芸術学科 | 1990 | 165 | 161 | 660 | 674 |
| 経済学部 | 1949 | **690** | **625** | **2,760** | **2,725** |
| 経済学科 | 1949 | 325 | 295 | 1,300 | 1,295 |
| 経営学科 | 1952 | 210 | 191 | 840 | 823 |
| 国際経営学科 | 2006 | 155 | 139 | 620 | 607 |
| 社会学部 | 1949 | **490** | **473** | **1,975** | **2,046** |
| 社会学科 | 1949 | 265 | 235 | 1,060 | 1,017 |
| 社会福祉学科 | 1965 | 225 | 238 | 915 | 1,029 |
| 法学部 | 1966 | **645** | **632** | **2,565** | **2,537** |
| 法律学科 | 1966 | 200 | 205 | 850 | 831 |
| 消費情報環境法学科 | 2000 | 225 | 209 | 900 | 914 |
| 政治学科 | 1990 | 155 | 150 | 620 | 600 |
| グローバル法学科 | 2018 | 65 | 68 | 195 | 192 |
| 国際学部 | 1986 | **300** | **261** | **1,200** | **1,244** |
| 国際学科 | 1986 | 245 | 217 | 980 | 1,002 |
| 国際キャリア学科 | 2011 | 55 | 44 | 220 | 242 |
| 心理学部 | 2004 | **320** | **304** | **1,280** | **1,232** |
| 心理学科 | 2004 | 175 | 165 | 700 | 685 |
| 教育発達学科 | 2010 | 145 | 139 | 580 | 547 |
| 学　部　計 | | **2,950** | **2,790** | **11,800** | **11,823** |

| 学　校　名 | | 開設年度 | 入学定員 | 入学者数 | 収容定員 | 現　員 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 明治学院高等学校<br>（東京都港区白金台） | 全日制課程 | 1948 | 333 | 310 | 1,000 | 946 |
| 明治学院東村山高等学校<br>（東京都東村山市富士見町） | 全日制課程 | 1963 | 240 | 260 | 720 | 767 |
| 明治学院中学校<br>（東京都東村山市富士見町） | | 1947 | 140 | 144 | 420 | 427 |
| 合　計 | | | **713** | **714** | **2,140** | **2,140** |

## ３．設置する学校の所在地・キャンパス面積・校舎面積

（単位：㎡）

| | 所　在　地 | 使用部門 | キャンパス面積 | 校舎面積 |
|---|---|---|---|---|
| 白金キャンパス | 東京都港区白金台 | 大学院・大学・高校・法人 | 39,530 | 71,876 |
| 横浜キャンパス | 神奈川県横浜市戸塚区上倉田町 | 大学院・大学 | 201,576 | 51,403 |
| 東村山キャンパス | 東京都東村山市富士見町 | 中学・東村山高校 | 56,200 | 16,700 |
| 戸塚グラウンド | 神奈川県横浜市戸塚区俣野町 | 大学院・大学 | 48,872 | 2,039 |
| 合　計 | | | **346,178** | **142,018** |

（2021年3月31日現在）

## ４．学生・生徒等納付金

＜大学学部（年額）＞　　（単位：円）

| 学　　科 | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
|---|---|---|---|---|
| | 2020年度生 | 2019年度生 | 2018年度生 | 2017年度生 |
| 英文 | 1,266,220 | 1,062,920 | 1,056,100 | 1,096,100 |
| フランス文 | 1,269,380 | 1,056,300 | 1,056,300 | 1,096,300 |
| 芸術 | 1,385,180 | 1,147,100 | 1,147,100 | 1,187,100 |
| 経済、経営 | 1,266,720 | 1,056,100 | 1,056,100 | 1,096,100 |
| 国際経営 | 1,486,720 | 1,079,830 | 1,076,100 | 1,116,100 |
| 社会、社会福祉 | 1,270,680 | 1,057,600 | 1,057,600 | 1,097,600 |
| 法律、消費情報環境法 | 1,294,680 | 1,069,100 | 1,069,100 | 1,109,100 |
| グローバル法 | 1,513,400 | 1,099,100 | 1,099,100 | － |
| 政治 | 1,279,680 | 1,059,100 | 1,059,100 | 1,099,100 |
| 国際 | 1,335,400 | 1,113,100 | 1,113,100 | 1,149,100 |
| 国際キャリア | 1,500,400 | 1,278,100 | 1,278,100 | 1,314,100 |
| 心理 | 1,344,180 | 1,128,100 | 1,118,100 | 1,158,100 |
| 教育発達 | 1,401,180 | 1,188,100 | 1,188,100 | 1,228,100 |

＊1年次は入学金200,000円を含む。
＊4年次は校友会終身会費40,000円を含む。

＜大学院（年額）＞　　（単位：円）

| 博士前期課程・修士課程 | 1年次 | | 2年次 | 3年次 |
|---|---|---|---|---|
| | 2020年度生 | | 2019年度生 | 2018年度生 |
| | 本学卒・院修 | 他大卒 | | |
| 英文学、芸術学、経済学、法と経営学 | 647,750 | 797,750 | 686,000 | － |
| フランス文学 | 647,950 | 797,950 | 686,200 | － |
| 社会学、社会福祉学 | 649,250 | 799,250 | 687,500 | － |
| 社会福祉学（3年制コース） | 480,100 | 630,100 | 477,500 | 517,500 |
| 国際学 | 650,750 | 800,750 | 689,000 | － |
| 心理学（心理学コース） | 729,750 | 879,750 | 768,000 | － |
| 心理学（臨床心理学コース） | 799,750 | 949,750 | 838,000 | － |
| 教育発達学 | 729,750 | 879,750 | 768,000 | － |

（単位：円）

| 博士後期課程 | 1年次 | | 2年次 | 3年次 |
|---|---|---|---|---|
| | 2020年度生 | | 2019年度生 | 2018年度生 |
| | 本学卒・院修 | 他大卒 | | |
| 英文学、芸術学、経済学、経営学 | 648,600 | 798,600 | 646,000 | 686,000 |
| フランス文学 | 648,800 | 798,800 | 646,200 | 686,200 |
| 社会学、社会福祉学 | 650,100 | 800,100 | 647,500 | 687,500 |
| 法律学、国際学 | 651,600 | 801,600 | 649,000 | 689,000 |
| 心理学 | 650,600 | 800,600 | 648,000 | 688,000 |

＊1年次の金額には他大卒の学生のみ入学金150,000円を含む。
（本学学部、本学博士前期課程・修士課程、専門職学位課程出身者の場合は入学金が免除）
＊最終年次に校友会終身会費40,000円を含む。（本学卒・本院卒で既に納入済の者は不要）

＜高校・中学校（年額）＞　　（単位：円）

| | 1年次 | | 2年次 | 3年次 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 移行生 | 他校出身 | | 移行生 | 他校出身 |
| 明治学院高等学校 | − | 964,427 | 666,772 | − | 691,676 |
| 明治学院東村山高等学校 | 1,088,000 | 1,108,000 | 808,000 | 758,000 | 763,000 |
| 明治学院中学校 | − | 1,144,000 | 769,000 | − | 829,000 |

＊明治学院高等学校の1年次は入学金250,000円を含む。
＊明治学院東村山高等学校の1年次は入学金280,000円（移行生は260,000円）を含む。
＊明治学院中学校の1年次は入学金280,000円を含む。

## ５．設置する学校の役員・評議員・教職員数

### ⑴　役員　理事定員22 ～ 24名（現員24名）　監事定員2 ～ 4名（現員2名）

（2021年3月31日現在）

| 役職 | 氏　名 | 就任年月日 | 主な現職等 | 非業務執行理事 |
|---|---|---|---|---|
| 理事長 | 山﨑　雅男 | 2020.6.5 | 理事2020.6.1就任 | |
| 理事 | 小暮　修也 | 2018.4.1 | 学院長 | |
| 理事 | 村田　玲音 | 2020.4.1 | 明治学院大学学長 | |
| 理事 | 永野　茂洋 | 2020.4.1 | 明治学院大学副学長 | |
| 理事 | 中野　聡子 | 2020.4.1 | 明治学院大学副学長 | |
| 理事 | 今尾　真 | 2020.4.7 | 明治学院大学法学部長 | |
| 理事 | 森田　恭光 | 2020.4.7 | 明治学院大学教養教育センター長 | |
| 理事 | 石川　理 | 2018.4.1 | 明治学院高等学校校長 | |
| 理事 | 伊藤　節子 | 2019.4.1 | 明治学院中学校・東村山高等学校校長 | |
| 理事 | 秋山　智一郎 | 2016.1.1 | 法人事務局長 | |
| 理事 | 杉村　佐壽 | 2020.6.1 | 総務担当理事 | |
| 理事 | 大海　龍生 | 2020.6.1 | 財務理事 | |
| 理事 | 和田　道雄 | 2020.6.10 | | |
| 理事 | 塚本　京子 | 2020.6.1 | | |
| 理事 | 鵜殿　博喜 | 2020.6.10 | | ○ |
| 理事 | 大江　浩 | 2020.6.10 | | ○ |
| 理事 | 高松　牧人 | 2020.6.1 | | ○ |
| 理事 | 三宅　宣幸 | 2020.6.1 | | ○ |
| 理事 | 金子　宏美 | 2020.11.1 | | ○ |
| 理事 | 小滝　秀明 | 2020.6.1 | | ○ |
| 理事 | 小檜山　ルイ | 2020.6.1 | | ○ |
| 理事 | 塚越　敏夫 | 2020.6.1 | | ○ |
| 理事 | 西田　一郎 | 2020.6.1 | | ○ |
| 理事 | 西原　良信 | 2020.6.1 | | ○ |
| 監事 | 辻　泰一郎 | 2020.6.10 | | |
| 監事 | 永嶺　雄三 | 2020.6.10 | | |

＊非業務執行理事および監事については、各人と責任限定契約を締結
＊各役員の最低責任限度額に適応する役員賠償責任保険（保険期間1年間）に加入

### ⑵　評議員　定員45 ～ 49名（現員49名）

（2021年3月31日現在）

| 氏　名 | 氏　名 | 氏　名 |
|---|---|---|
| 天野　愛子 | 小林　敏 | 西原　良信 |
| 李　省展 | 坂口　緑 | 芳賀　繁浩 |
| 飯　謙 | 芝間　衛 | 羽田　隆 |
| 飯田　浩司 | 孫　永律 | 原田　健一 |
| 飯田　雅彦 | 田浦　一成 | 廣田　光司 |
| 植木　献 | 髙須賀　伸成 | 藤掛　順一 |
| 鵜殿　博喜 | 高松　牧人 | 松岡　良樹 |
| 大江　浩 | 高良　研一 | 松田　真二 |
| 大塩　光 | 竹越　浩一 | 宮内　隆 |
| 大西　哲也 | 田中　桂子 | 三宅　宣幸 |
| 岡　伸一 | 田丸　修 | 森　千草 |
| 勝俣　幸洋 | 塚越　敏夫 | 森内　美夫 |
| 君島　庸子 | 辻　直人 | 守川　初穂 |
| 櫛田　健一 | 富岡　美夫 | 吉村　哲也 |
| 久山　道彦 | 長岡　宣好 | 和田　道雄 |
| 黒米　忠一 | 中野　薫 | |
| 小滝　秀明 | 西田　一郎 | |

（50音順で記載）

### (3) 教職員

| | | 中学校 | 東村山高等学校 | 高等学校 | 大学 | 法人 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 常勤 | 教員 | 0 | 0 | 0 | 285 | 0 | 285 |
| | 教諭 | 21 | 35 | 46 | 0 | 0 | 102 |
| | 準宣教師 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 常勤講師 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 助手 | 0 | 0 | 0 | 17 | 0 | 17 |
| | 副手 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 研究所実験助手 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 職員 | 1 | 5 | 6 | 166 | 9 | 187 |
| | 学院牧師 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 音楽主任者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 主任カウンセラー | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| | ボランティアコーディネーター | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| | 主任教学補佐 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 5 |
| | 教学補佐 | 0 | 0 | 0 | 30 | 0 | 30 |
| | 特別嘱託職員 | 0 | 0 | 2 | 14 | 1 | 17 |
| | 専任保健師 | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 4 |
| | 障がい学生支援コーディネーター | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 4 |
| | 宗教部主任職員 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 宗教部常勤職員 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 特別契約助手 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 特別契約職員 | 0 | 0 | 0 | 12 | 2 | 14 |
| | 常勤小計 | 22 | 41 | 55 | 545 | 14 | 677 |
| 非常勤 | 客員教授･特命教授･非常勤講師 | 11 | 24 | 43 | 877 | 0 | 955 |
| | 客員研究員 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| | 非常勤嘱託職員 | 0 | 0 | 0 | 33 | 0 | 33 |
| | 特別ティーチング・アシスタント | 0 | 0 | 0 | 35 | 0 | 35 |
| | ティーチング・アシスタント | 0 | 0 | 0 | 22 | 0 | 22 |
| | 心理臨床センターカウンセラー | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| | 心理臨床センターアシスタントカウンセラー | 0 | 0 | 0 | 4 | 0 | 4 |
| | スクールカウンセラー | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 |
| | ソーシャルワーカー | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 研究調査員 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 特任研究員 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| | 非常勤職員 | 3 | 4 | 9 | 87 | 0 | 103 |
| | 非常勤小計 | 15 | 29 | 53 | 1,064 | 2 | 1,163 |
| 総合計 | | 37 | 70 | 108 | 1,609 | 16 | 1,840 |

（2020年5月1日現在）

# 第２章　2020年度事業の概要

## １．法人

### ⑴　事業計画

#### ①　明治学院の教育

「明治学院一貫教育宣言」の理念に基づき、「明治学院教育ビジョン」が策定された。学院長を中心としたマネジメント体制を構築、中・高・大の連絡・連携を強化して、中・長期的な視点から明治学院の一貫教育体制を推進する。

#### ②　キリスト教活動

中・高・大を包括した全学院にまたがるキリスト教教育諸活動を推進する。

#### ③　「明治学院大学チャレンジ奨学金募金」の1年間の延長と高校校舎改築のための募金継続

大学での新奨学金制度を推進するため、目標額450百万円（募集期間2015年10月～ 2021年3月）を目指して募金活動に注力する。また、高校校舎改築のための募金活動にも注力する。

#### ④　改正私立学校法の施行と学校法人の自律的なガバナンスの改善・強化

私立学校法の改正に伴い、役員の職務及び責任の明確化を図り、情報公開の充実に努める等自律的なガバナンスの改善・強化を図る。また、大学の入学定員管理の厳格化や監事の理事・理事会への牽制機能が強化されたことに伴うガバナンスの改善を進める。

#### ⑤　明治学院の財政基盤の強化

学院の中長期財政計画に基づき一層の財政強化を図る。収入源の安定的確保に向けた諸方策を推進するとともに、支出の抑制と効率的配分に向けた施策を実施し、財政の健全化に努める。
予算のPDCAを回し、収入に見合ったメリハリの利いた予算の効率的活用を推進する。

#### ⑥　キャンパスの有効活用と施設・設備の整備

白金キャンパスは大学と高校が連携した整備計画を行い、高校校舎改築に向けて仮設校舎の使用開始、旧校舎の解体および新校舎の建設に着手する。
横浜キャンパスはキャンパスコンセプトに基づき横浜キャンパス整備計画をさらに推進する。
東村山キャンパスは中学棟、講堂棟、チャペルの整備計画を進める。

#### ⑦　危機管理体制への取り組み

各学校との防災連携、備蓄品の確保、行政との連携、非常安否確認システム登録の推進に取り組む。大学では中期計画に基づき非構造部材（天井）落下防止措置を実施する。また、地震等にそなえて、事業継続計画の策定を検討する。

#### ⑧　文化活動

明治学院歴史資料館での常設・企画展示会および講演会等を開催するとともに、学院歴史資料館の使命とビジョンを明確にする。またチャペルコンサートをシリーズとして開催する。

#### ⑨　株式会社明治学院サービスとの連携強化

明治学院の全額出資会社である株式会社明治学院サービス（1997年度に設立され23年目）は、学院、各学校と教育・研究活動に関する密接な連携を推進していく。

### ⑵　事業計画の進捗状況

#### ①　明治学院の教育

⑷　2011年3月に「明治学院一貫教育宣言」を発信し、中学校、高校、大学が目指す生徒像、学生像を明らかにしつつ、明治学院に流れる共通の理念を確認した。2015年度には宣言の理念に基づき、「明治学院教育ビジョン」を策定し、その具体化に取り組んできた。

その教育ビジョンの内容を学生・生徒・勤務員に発信するために、冊子『あなたの生き方が社会をつくる―明治学院教育ビジョン』（2020年版）を新入大学生約3,000名、明治学院高校生約1,000名、明治学院中学・東村山高校生約1,200名、役員及び勤務員に配布した。

この「明治学院教育ビジョン」に基づき、具体的な計画と実行を目指す中高大の教職員からなる5つのチームを結成し、第二期の活動を実施した。

＜５つのチーム＞

| | チーム | 目　的 |
|---|---|---|
| 1 | 共通テキスト作成チーム | キリスト教教育の理念と実践の再構築<br>共通テキストの作成 |
| 2 | キリスト教教育教職員研修チーム | キリスト教教育に関する教職員研修プログラムの企画 |
| 3 | 国際交流（留学）チーム | 国際交流（留学）に関する高大接続 |

| | | |
|---|---|---|
| 4 | ボランティア教育連絡会議チーム | ボランティアの理念と課題共有<br>発達段階に合ったボランティアの研究開発 |
| 5 | キャリア支援会議チーム | キャリア教育の課題共有<br>キャリア教育の方針策定 |

1)　中高大の共通テキスト作成チームにおいては、2019年4月に完成した『ヤバいぜ！聖書（バイブル)』の改訂作業を進め、ヘボン博士の生誕記念の地、小諸フィールドワーク、聖書覚え歌等を加えた改訂3版を発行した。このテキストは2019年4月から中高の「聖書」の授業や新入生ガイダンスで使用し、2020年4月からは大学の「キリスト教の基礎」の授業で使用を開始した。

| 年度＼対象 | 教職員 | 学生・生徒 | 計 |
|---|---|---|---|
| 2019年度配布数 | 713 | | 713 |
| 2020年度配布数 | 36 | | 36 |
| 2019年度使用数 | | 727 | 727 |
| 2020年度使用数 | | 2,768 | 2,768 |
| 計 | 749 | 3,495 | 4,244 |

2)　キリスト教教育教職員研修チームは、リトリート（黙想会）や「キリスト教ふれあい年」の企画を進めたが、コロナ禍で実行できなかった。

3)　国際交流（留学）チームにおいては、高校生向けTOEFL講座はコロナ禍で中止とした。他方で､「私のグローバル・キャリア」オンライン講演会を開催し（2021年1月23日)､大学生12名、高校生6名が参加した。留学生活とその後の就職活動に対する具体的イメージがつかめたと好評であった。3名の講演者からも「自身を見つめ直す良い機会となった」とのことである。

4)　ボランティア教育連絡会議チームにおいては､「明治学院ボランティア一貫教育宣言」をまとめ、宣言に基づき、中高大連携海外ボランティア「タイ・パヤオプロジェクト」（タイ北部パヤオセンターへの訪問と交流）を企画した。しかし、コロナ禍で現地訪問は実施できなかったので、パヤオセンターとのオンライン交流会（2020年12月26日、明治学院側参加学生・大学生4名、高校生4名、東村山高校生2名=10名）を開催、さらに明治学院大学に留学後タイに帰国したタマサート大学生とのオンライン交流会（2021年2月10日、明治学院側参加学生・大学生3名、高校生5名、東村山高校生2名）を実施し、タイやミャンマーの実情について詳しく聞くことができた。

5)　キャリア支援会議チームでは、発達段階の相違、課題の相違、学校の相違を踏まえつつ、明治学院としてキリスト教に基づくキャリア教育のあり方について議論を深めた。コロナ禍の中でも中学・東村山高校、高校、大学では次のように取り組みを行なった。

（敬称略）

| 学校 | 回 | テーマ | 講師 | 参加者 |
|---|---|---|---|---|
| 明治学院中学校 | 1 | キャリア講演会 | 廣瀬　　健 | 中3生 141名 |
| | 2 | キャリア講演会 | 柳沢　寿男 | 中3生 141名 |
| 明治学院東村山高校 | 1 | 生きる～骨髄バンクの歩みを学ぶ～ | 大谷　貴子 | 高1生 263名 |
| 明治学院高校 | 1 | 学びみらいPASS | | 高1生 308名 |
| | 2 | 社会人による進路講演会 | 卒業生 3名 | 高1生 304名 |
| | 3 | 進学適性検査GAKUTAN | | 高2生 311名 |

明治学院大学については､「内なる国際化プロジェクト」で身につく力の言語化に取り組んだ。また､「JALグランドスタッフによる接遇ビジネスマナー講座」を学部1・2年生対象にオンラインで実施した（2021年2月25日、受講生20名)。

6)　学院の一貫教育の重要な取り組みである学長プロジェクトJ.C.バラ・プログラムについては、系列校の入学予定者がオンラインにて参加し、入学前教育を実施した（高校生141名、東村山高校生121名、計262名)。具体的には、開会式・聖書朗読、模擬授業（オープンキャンパス用に作成された各学科の模擬授業動画を使用。視聴後、manabaにて感想文を提出)、学生企画・横浜キャンパスツアー（学生作成の横浜キャンパス案内動画を配信。途中で大学生が高校生に質問し、高校生同士で回答を出してもらうなどの取り組みも実施）等を行なった。

コロナ禍であったが、プロジェクトメンバー（大学生49名、職員5名）が協力して、系列校の学生が充実した大学生活を送れるよう取り組み、高校生からも高い評価があった［高校生事後アンケート（回答数168名)：「模擬授業は理解できたか」→理解・ほぼ理解97％、「先輩

学生との交流は」→大変充実・充実96％、「大学生活への期待度は」非常に高まった・高まった98％、「横浜キャンパスの動画内容」→満足・ほぼ満足97％]。

7)　明治学院の一貫教育の成果を高めるため、前年度に引き続き、大学が特A推薦・チャレンジ推薦を含めた系列校特別推薦入試を実施した。その結果、高校137名、東村山高校121名、計258名が明治学院大学に進学した。詳細は下記の通り。なお、現役生で一般受験して明治学院大学に合格した者は高校延べ3名であった。

| 年度＼推薦 | A推薦 | 特A推薦<br>大学入学者 | B推薦 | チャレンジ<br>推薦 | 計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 2017年度高校 | 15 | 3 | 77 | 0 | 95 |
| 2018年度高校 | 34 | 1 | 96 | 1 | 132 |
| 2019年度高校 | 31 | 2 | 94 | 2 | 129 |
| 2020年度高校 | 26 | 4 | 105 | 2 | 137 |
| 2017年度東村山高校 | 12 | 2 | 62 | 3 | 79 |
| 2018年度東村山高校 | 24 | 3 | 79 | 1 | 107 |
| 2019年度東村山高校 | 24 | 4 | 77 | 2 | 107 |
| 2020年度東村山高校 | 33 | 2 | 85 | 1 | 121 |

8)　東村山高校においては、2019年度より明治学院大学への進学希望者のための「アカデミックリテラシー」の科目が「教養原論」として大学入学後に単位認定されることになった。2020年度は大学教員の直接の講義で高校生がより学問的関心を持てるよう指導した（授業回数14回、大学教員13名、参加高校生132名）。この取り組みにより、明治学院大学への関心と理解がより一層深まった。

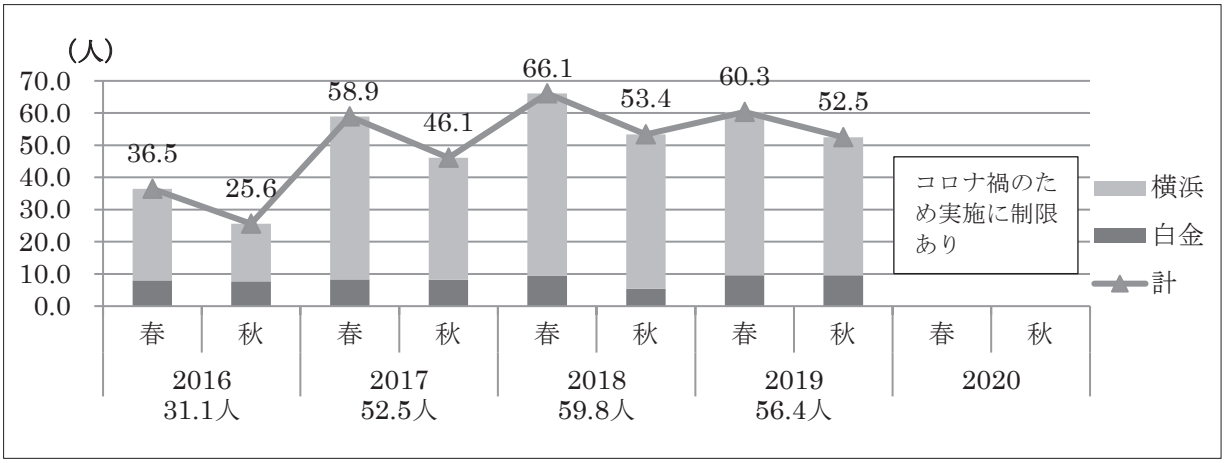
(b)　16 ～ 18世紀の工法を現代に再現した明治学院のパイプオルガンを維持管理していくために、外部の専門家を加えたオルガン管理運営委員会を設置した。2020年度は主にパイプオルガンの初期調査を実施し、この報告に基づき中長期の保守計画について協議し、2021年度より定期保守を実行していくこととした。

② **キリスト教活動**

(a)　2020年度も明治学院全体にわたり礼拝の充実に努力すること、特に大学チャペルアワーの活性化をはかり、白金・横浜合わせて少なくとも70人程度の学生がチャペルアワーに参加できるよう取り組むことを掲げた。しかし、コロナ禍で2020年度春学期は大学の全ての授業がリモートで行われ、チャペルアワーも学生をチャペルに入れての実施は見合わせた。その替わりに学院牧師による4月の始業礼拝、6月の通常礼拝を動画撮影し配信した。

2020年度秋学期は一部対面授業が再開したので、チャペルアワーについては、感染症予防を徹底した上で実際の出席も可能とした（2020年度秋学期平均学生出席数：白金7.4人、横浜9.0人、計16.4人）。尚、横浜チャペルアワーではリアルタイム動画配信も実施した（2020年10月～ 2021年1月、延べ回数63回、延べ視聴者数316人）。

**＜大学チャペルアワーの学生出席者数（学期平均、人）＞**




(b)　「学校法人明治学院年間主題聖句」は教職員のほか学生・生徒に対してもキリスト教の教えが伝わるように意識して選定した。

2020年度 明治学院 年間主題聖句
「あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。」（ペトロの手紙Ⅰ　4章10節）

この聖句を多くの教職員や学生・生徒が意識できるように、入職式礼拝や「学院長だより」での紹介、礼拝奨励、学院正門掲示板及び学院ホームページ等で広く知らせた。また、明治学院高校、明治学院中学・東村山高校でも、様々な資料で紹介した。

(c) 勤務員キリスト教学校教育セミナー（以下、勤務員セミナー）は、中高大の勤務員が唯一集まれる大切な場として、新たなテーマを設定して実施を目指したが、コロナ禍の中でやむを得ず中止とした。

**＜勤務員キリスト教学校教育セミナーテーマおよび参加者数＞**　（敬称略）

| 年度 | テーマ（講師ほか） | 参加者数 |
|---|---|---|
| 2018年度 | 近代日本150年―私たちはどう考えるか（高橋源一郎） | 90 |
| 2019年度 | 明治学院　私たちの新しい歩み方（内田樹） | 85 |
| 2020年度 | コロナ禍のため中止 | |

勤務員セミナーは中止としたが、実行委員会において今までの歩みを振り返り、今後の展望を話し合った。その結果、過去の勤務員セミナー（旧勤務員修養会・勤務員研修会等）での講演記録を転載するとともに、今までの歩みや展望についての座談会を掲載した『新しい舵―勤務員セミナー講演集』という冊子を作成し、教職員に配布した（B5版136頁、2021年3月）。

(d) 日本基督教団東京教区南支区の諸教会や地域とのつながりを深めるため、「ペンテコステの集い」について開催の可否を話し合ったが、コロナ禍でのリスクを考慮し中止とした。

(e) クリスマス音楽礼拝は感染症拡大防止のために中止とした。その替わりに、パイプオルガンによるクリスマスの音楽と共に学院の風景を映した短い動画を配信した（2020年12月23日～2021年1月6日）

(f) キリスト教学校教育同盟関係では、事務職員夏期学校を始め各種研修会・リトリートが中止となったため、勤務員は参加することができなかった。なお、2019年度に引き続き、2020年度も学院長がキリスト教学校教育同盟関東地区代表理事を務めているため、学院長室が関東地区協議会事務局としての役割を担った。

(g) 卒業生に対するキリスト教人格教育の一環として、白金チャペルで学院牧師・関係牧師の司式により結婚式が行われている。2020年度は度重なる「緊急事態宣言」により挙式の延期・変更が続いたが、感染症予防を徹底し、5組の結婚式を行うことができた。

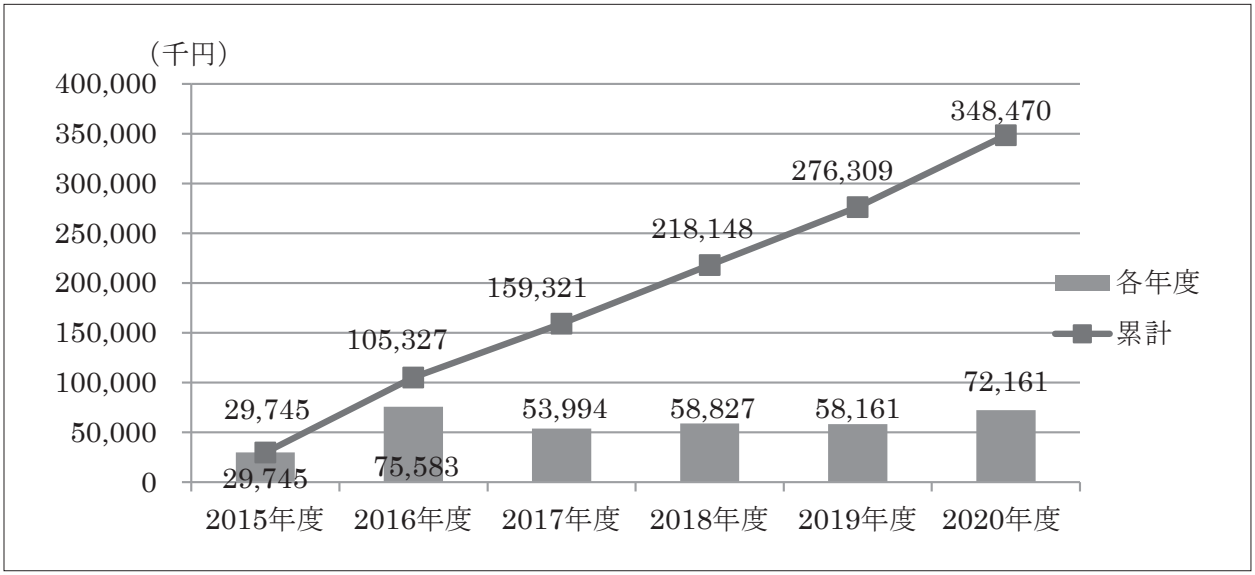
**③ 「明治学院大学チャレンジ奨学金募金」の継続推進**

2015年度より開始した「明治学院大学チャレンジ奨学金募金」は、2020年度に第4番目の目的として「新型コロナウイルス感染症対応給付奨学金のため」を追加し、募集期間を2024年3月末まで延長、目標額を6億円とした（2021年3月末での募金額：348,470千円で目標額450百万円に対して進捗率77.4％）。

年に2回発行する「募金ニュース」においてこの寄付を基にした奨学金を受給した学生の声を寄付者へ伝えるとともに、さらに寄付者の裾野を広げるために「2,000円のコンビニ専用定額振込用紙」を同封して、引き続き募金への協力を訴えていくこととした。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、大学は2020年度春学期の授業をオンライン授業により実施することになった。遠隔授業を実施していくにあたり学生各自にオンライン環境の整備をお願いし、その経費負担を少しでも軽減し学修環境全般を整えていただくための緊急支援として、在学生全員に一律50,000円を支給した。さらに家計が急変し、学業継続に支障を来たした学生を対象に特別な奨学金（「明治学院大学新型コロナウイルス感染症対応給付奨学金」）を給付する救済措置を取ってきた。

＜チャレンジ奨学金募金の寄付額推移＞




また、2019年度より始まった高等学校の校舎改築事業資金充実のための「明治学院高等学校新校舎建築募金」を推進しているが、2021年3月末募金額は、24,758,681円（進捗率24.8％）となった。

・目　標　額：100百万円
・募集期間：2019年4月～ 2022年7月
・使　　途：校舎改築、仮設校舎建築、本館・体育館の改修、新規設備・備品購入等
・募集対象：教職員、法人役員、同窓生、企業・取引先
・2021年3月末募金額：24,758,681円（進捗率 24.8％）

**④　改正私立学校法の施行と学校法人の自律的なガバナンスの改善・強化**

(a)　私立学校法の改正に伴い、学校法人として以下の①～③に重点を置いた自律的なガバナンスの改善・強化を図った。
①役員の職務および責任の明確化等に関する寄附行為の改正
②学校法人明治学院情報公開規程の制定
③2020 ～ 2024年度中期計画（予算・事業）の2020年度の検証

(b)　大学では、2017年度入試において大幅な定員超過となり、2018年度から3年連続して入学定員未充足となった。2021年度入試は改めて定員通りの入学者獲得を目指し、2021年4月1日時点の入学手続者数は2,966人（定員2,950人）となった。

(c)　2020年4月より施行された改正私立学校法に沿って改正された寄附行為に従い、役員の職務および責任の明確化、情報公開の充実に努めた。

(d)　新型コロナウイルス感染症拡大の影響を極力抑えるため、法人部門と大学執行部との間で定期的に行われている懇談会を継続し、学習環境の整備と学生・生徒、保証人・保護者の経済的負担軽減を最優先課題として法人運営を行った。

(e)　私立大学等改革総合支援事業の採択に至らなかった。依然として補助金獲得体制の強化が必要となっている。

(f)　科学研究費助成事業の採択件数は伸び悩んでいるが、科学研究費助成事業の採択率は私立大学で全国第一位となった。

(g)　会計士監査、監事監査および理事会直轄の監査室との意見交換を活発に行い、連携の強化を図るとともに、三様監査の実効ある運用を進めた。また2020年4月1日から施行された私立学校法の改正により監事の理事の業務執行状況への牽制機能が強化された結果、緊張感のある理事会運営が行われた。

**⑤　明治学院の財政基盤の強化**

(a)　2020年度4月からスタートした「学校法人明治学院中期計画」において中期財政計画を作成
2020年度～ 2024年度までの5年間の中期財政計画と目標を作成し、学院の教育事業が自主的に行えるよう財政面での担保を明確にした（詳細は「中期計画」参照）。
①基本金組入前当年度収支差額目標（正味財産）→85億円の増加を図る
②当年度収支差額目標→高校校舎建築（総費用53億円）を含め基本金組入後、△10億円に止める
③中期財政計画の数値目標→経常収支差額比率10％以上と当年度収支差額比率1％以上

(b)　2020年度における中期財政目標の進捗管理
　2020年度においても、単年度ベースでの経常収支の均衡を図るため、収入の確実な確保と新予算システムの稼働による支出の適正化を目指した。しかし、コロナウイルス感染症への対策として、奨学金支出およびオンライン授業対応のための支出が増加したため、中期財政計画の目標としている①経常収支差額比率（経常収支差額÷経常収入）10％以上については8.1％、②当年度収支差額比率（当年度収支差額÷事業活動収入）1％以上については－0.1％となり、目標を達成することができなかった。
(c)　第2号および第3号基本金の充実
　2020年度において第2号基本金については、大学で300百万円、中学・東村山高校で100百万円の組み入れを行った。また大学での奨学金を拡充するため、大学第3号基本金に300百万円を組み入れた。

**⑥　キャンパスの有効活用と施設・設備の整備**

(a)　法人・大学においては、明治学院教育ビジョンおよびMG DECADE VISIONの達成に向けた各種施策の検討を継続するとともに、特にコロナ禍における遠隔授業等を取り入れた新たな教育環境整備に注力するなど、主にネット環境のインフラ整備を優先的に実行した。
(b)　高校においては、仮設校舎への移転作業が完了し、授業・事務ともに順調に移行できた。また、旧校舎の解体も終了し、新校舎の建築にも着手した。
(c)　東村山キャンパスにおいては、中学棟、講堂棟、チャペルの整備計画に合わせた資金計画を更に進めるために、2号基本金への組み入れ計画を変更（組入予定額1,000百万円→1,800百万円）した。

**⑦　危機管理体制への取り組み**

(a)　学校法人明治学院災害対策総本部と各学校に設置される災害対策本部間の統括調整訓練を引き続き検討。
(b)　各学校において、災害時に必要となる基本備蓄品（水、食料の他、災害時必需品）の備蓄を維持し、第一次避難所のほか帰宅困難者受入の際にも活用できるよう備蓄率向上に努めた。
(c)　白金キャンパスにおける学生、生徒と帰宅困難者の受入れ施設を検討。
(d)　「白金高輪駅周辺滞留者対策推進協議会」など、各学校において、行政との基本連携協定等に基づく、地域の防災・防犯活動に参画した。
(e)　各学校において、学生・生徒および教職員の非常安否確認システム登録を推進した。
(f)　中期計画で実施している大学の非構造部材耐震対策工事（天井落下防止措置）については、白金キャンパスではパレットゾーン白金のアリーナを、横浜キャンパスでは8号館1階のインターナショナルラウンジとC館の2階・3階食堂、6号館1階1教室・2階2教室（計3教室）を完了することができた。
(g)　新型コロナウイルス感染症拡大に伴う大学における事業継続計画（Business Continuity Plan）の原案を作成した。今後全学的なコンセンサスを得たうえで成案とする計画である。

**⑧　教育・文化活動**

(a)　歴史資料館
　明治学院歴史資料館（以下、資料館）は、学院と学院の設置する諸学校の歴史に関する資料の収集および保管を行い、教育・研究の用に供することを目的としており、資料目録の整備、刊行物の発行、展示等の事業を展開している。今後の資料館の在り方を明確にし、学院内の学生や生徒さらには社会一般に所蔵資料を探求することによる「知の楽しみを分かち合う」機会を提供するしくみ「ミュージアム・ビジョン」を策定した。
　1)　2016年度から取り組みを開始した所蔵資料目録整備作業を2020年度も継続し、目録化資料数の累計は約15,000点となった。2021年度内にWebを利用した目録検索システムおよびデジタルアーカイブの公開を目指している。
　2)　研究および教育活動の成果として、以下の刊行物を発行した。
　・『歴史資料館ニュースレター No.12』（2021年3月発行）
　・『明治学院歴史資料館資料集 第17集 山田幸三記「明治二十八年日誌」』
　　翻刻・解説・注：石崎康子（特任研究員）、松本智子（特任研究員）（2021年3月発行）
　3)　学芸員資格取得を目指す明治学院大学文学部芸術学科5名の学生が、コロナ禍により学院外の博物館等での実習が困難になったため、資料館で「博物館実習」を行った（2020年9月14日～9月18日）。実習の成果として、受講した学生が主体となり、「IBUKA ～明治学院に残したもの～」の展示を資料館展示室で開催した。
　4)　学院史への知的好奇心を持つ学生への対応として、学生に向けた歴史的建造物の見学と学院史に関する説明と対話（2020年11月17日）、学生が地域における活動として参加している港区高輪支所区民参画事業「高輪今昔物語」への調査協力を行った（2020年12月10日）。

(b)　オルガン講座

白金キャンパスのオルガン講座について、高校の受講者は高校礼拝・アドヴェント礼拝・高校PTA主催レクチャーコンサートで演奏の機会がある。大学の受講生は大学チャペルアワー、クリスマスキャンドルライトサービスにおける奏楽（白金キャンパス）、大学オープンキャンパス、白金祭などで演奏の機会がある。

2020年度はコロナ禍で、大学・高校での対応がさまざまに分かれ、一時中止・オンラインレッスン・様子を見ての対面方式など、工夫しながら講座を継続してきた。

高校生は行事等での演奏を行い、大学生は各自の演奏記録（録音・録画）を残し、学びの総括とした。2020年度白金キャンパスのオルガン講座は、全体で23名が受講（2019年度48名）、横浜キャンパスのオルガン講座は、大学生1名が受講した。

(c)　歴史的建造物の広報活動

学院の歴史的建造物の写真を用いた卓上カレンダー（2021年版）を作成した。

**⑨　株式会社明治学院サービスとの連携強化**

(a)　学校法人明治学院の100％の出資会社としての株式会社明治学院サービスに対して、学院が行う教育・研究活動に関してさらなる密接な連携を図った。

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い大学は春学期の授業をオンライン授業とした。そのため「内なる国際化」プロジェクトの派遣、経済学部のPCサポート・インターンシップコーディネーターの派遣、法学部の公務員セミナー事務室の運営、国家試験対策室の派遣、グローバル法学科の派遣、教養教育センターの派遣、心理学科の就活支援講座の開講等の業務委託計画は縮小せざるを得なかった。

(b)　学院財政への貢献

（単位：千円）

| 学院への貢献内容（定量面） | 金額 |
|---|---|
| 寄付金（大学、高校、中学・東村山高校の教育研究に要する経費への支援） | 0 |
| 学院の収入増加への貢献（＊施設貸出収入、事務所家賃等） | 78,180 |
| 学院関連団体（学生団体、同窓会、ヘボン経済人会）への広告料 | 495 |
| 合　　計 | 78,675 |

＊施設貸出利用者：38団体、61件、利用者数49,362人（大学、中学・東村山高校）

＊白金チャペル結婚式利用者：5組、列席者142人

(c)　株式会社明治学院サービスの2020年度決算

（単位：千円）

| | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 売 上 高 | 981,262 | 825,734 | 859,153 | 840,291 | 843,755 |
| 経常利益 | 13,487 | 11,217 | 10,115 | 7,073 | －2,043 |
| 当期利益 | 8,870 | 7,620 | 7,352 | 4,883 | －2,565 |

## ２．明治学院大学

### ⑴　事業計画

①　キリスト教教育の展開
②　教学改革と教育改善の推進
③　入試制度改革の推進
④　学生へのサポート体制および学業支援（奨学金）の強化
⑤　施設および設備の充実
⑥　広報活動の展開
⑦　その他

### ⑵　事業計画の進捗状況

#### ①　キリスト教教育の展開

新型コロナウイルス感染症の拡大により、春学期の宗教部行事の多くが中止となった。秋学期以降、かぜのうたコンサート、クリスマスツリー点灯式、クリスマス礼拝等の行事については、事前申込等で参加学生数を把握するなど、密集を避ける工夫をしたうえで開催した。

チャペルアワーについては、両キャンパスとも秋学期より対面を開始したが、例年より少ない参加学生数となった。なお､対面で行えない代わりに､メッセージを録画編集した「オンラインチャペルアワー」を6月から秋学期終了まで、大学ウェブサイトで定期的に発信した。また、横浜キャンパスでは、秋学期の対面によるチャペルアワーを学生や教職員向けにオンラインでライブ配信した。

#### ②　教学改革と教育改善の推進

⑷　自己点検・認証評価への対応　※認証評価事項

2020年度から内部質保証サイクルの二巡目に入り、規程の整備を進め、体制の確立に注力した。具体的な取り組みとして、学内の各組織における自己点検・評価に基づき、特に教学を中心とする項目については、他学部教員によるピアレビュー評価を実施し、大学全体の取り組みを含め、質保証統括委員会で課題の点検・検討を行った。その後、大学執行部会議での議論を経て、改善が必要と思われる事項に関し、対象組織へ課題解決の指示を行い、改善に向けた質保証サイクルを進めた。

⑸　Webを活用した授業評価アンケートの推進

計画を前倒しして2020年度にオンライン授業でもアンケートを実施できるようWebシステムの整備を行った。春学期は従来型の設問を使用せず、対面・オンラインの授業形態に関する設問を設定し、授業ごとではなく春学期の授業全体についての意見を収集した。秋学期は対面・オンラインの設問群のほか、従来型の設問も設定した。

結果について経年比較したところ、多くの設問においてコロナ前の状況に比べて例年同等ないしは例年より満足度評価が高いという結果となった。対面・オンラインのいずれにおいても、コロナ禍において各教員が工夫を行ったことが推察される。

⑹　中長期計画「MG DECADE VISION」の推進

明治学院大学では2015年度より10ヶ年計画「MG DECADE VISION」を策定し、教学改革を推進している。2020年度は第1期後半（2020－2024）の初年度であり、重点政策（グローバルマインド、ボランティアスピリッツ、キャリアデザイン）に基づき、以下の施策を行った。

1)　グローバル教育の充実（グローバルマインド）

ア　協定校とのパートナーシップの構築

これまでは留学フェアや海外大学への個別訪問等、出張に重点を置いて国内外の教育機関等とのパートナーシップの構築を実践してきたが、2020年度は国の内外を問わずイベントへの参加や直接の訪問が困難となったため、ネットワークを利用して協定校や関連諸機関との連携維持に努めた。具体的には、オンラインを活用した「コロナ禍でのオンライン国際交流」の取り組みをまとめたWebページを公開した。

イ　SDGsスタディツアーの開催

2020年度はオンラインによるSDGs研修プログラムを夏季休暇中および春季休暇中に実施し、夏季プログラムには8名、春季プログラムには4名の参加があった。

ウ　海外派遣学生の研修とピアサポート

留学や海外インターンシップを志す学生に研修や留学経験学生との対話の機会を提供し、海外活動に関する知識・体験値を共有させる仕組みを創設した。これから海外に出ようとする学生への支援とともに、海外経験を終えて帰国した学生のグローバルキャリアのステップアップの場として機能させることを目的としている。

2)　ボランティア活動の充実（ボランティアスピリッツ）

ア 「１Day for Others」の見直し
　2020年度は例年対面で行っているプログラムを実施することができず、オンライン対応が可能な10プログラムを実施し、115名の学生が参加した。
イ 「いつでもボランティアチャレンジ」（通称「いつボラ」）の周知
　2020年度は次の取り組みに助成を行った：コロナ禍による不要な外出の自粛に対応すべく、岐阜県の「障がいを持つ親と子どもの会ホープフルハーツ」からぬいぐるみを預かり、持ち主に代わって学生が観光地を回り撮影し、アルバムにして渡す。
ウ 「明治学院大学教育連携・ボランティア・サティフィケイト・プログラム」の推進
　2016年に始まった本プログラムの3期目として10名の学生が修了生として認証された。課題であった登録1年目の学生のインテグレーション講座への定着率については、2020年度目標の50％を上回ったものの、コロナ禍の影響で1年目の学生の活動報告が例年になく少ない状況となり、今後の認証に向けて不安を残すこととなった。

3) キャリアサポート体制の充実（キャリアデザイン）
ア キャリアデザインに資する教育・支援プログラムの充実
　キャリアデザイン（自己理解および社会・職業との接続）のための正課授業については、卒業生団体のヘボン経済人会の協力により、新たに「キャリアデザイン2」を開講した。課外講座は、低学年向けの自己分析講座の新規開設等、89のプログラムを実施した。また、採用活動の早期化に対応して、一部の講座は例年よりも早い時期に開講した。
イ 相談体制の充実
　相談は全て予約制のオンラインで実施した。緊急事態宣言発令に伴う企業の採用活動長期化により、6月以降は相談枠を増やして対応した。
ウ 学外連携
　卒業生団体のホテル白金会に所属の卒業生5名が、オンラインでホテル業界志望の学生と交流を図った。東京新卒応援ハローワーク、東京外国人雇用サービスセンター（外国人留学生対応）から白金校舎に相談員の派遣を受けてオンラインにて就職相談を行い、東京しごとセンターが本学学生向けに21講座を実施した。また、東京商工会議所主催の企業研究プログラム「東商リレーションシップ・プログラム」がオンラインと対面で行われ、本学からも10名の学生が参加した。

**＜学部生の過去5年の実就職率推移＞**

| 卒業年度 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|---|---|---|---|---|---|
| 就職率(%) | 88.3 | 91.0 | 91.5 | 88.6 | 86.7 |

実就職率=就職者数÷（卒業者数－大学院進学者数）

**＜2020年度就職・求人状況＞**

【就職実績上位】（2021年5月1日現在）　（人）

| | 企　業　名 | 男 | 女 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 横浜市教育委員会 | 6 | 14 | 20 |
| 2 | （株）ベネッセスタイルケア | 5 | 13 | 18 |
| 3 | 明治安田生命保険（相） | 1 | 16 | 17 |
| 4 | 東京都教育委員会 | 5 | 9 | 14 |
| 5 | 日本生命保険（相） | 2 | 11 | 13 |
| 6 | 横浜市役所 | 3 | 7 | 10 |
| 7 | （株）システナ | 2 | 7 | 9 |
| 7 | （株）ファーストリテイリング | 0 | 9 | 9 |
| 7 | レイス（株） | 4 | 5 | 9 |
| 10 | 第一生命保険（株） | 1 | 7 | 8 |
| 11 | 神奈川県教育委員会 | 2 | 5 | 7 |
| 11 | 神奈川県警察本部 | 3 | 4 | 7 |
| 11 | 住友生命保険（相） | 0 | 7 | 7 |
| 11 | 日本交通（株） | 7 | 0 | 7 |
| 11 | 三井不動産リアルティ（株） | 2 | 5 | 7 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 11 | （株）横浜銀行 | 3 | 4 | 7 |
| 11 | 楽天グループ（株） | 3 | 4 | 7 |
| 11 | リゾートトラスト（株） | 2 | 5 | 7 |

| 求人件数 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 9,773 | 12,259 | 28,562 | 21,185 | 19,406 |

※2017年度以降の求人件数については、求人紹介システム（キャリタスUC）の仕様変更に伴う企業・団体の求人配布簡素化により増加。
※2020年度の求人件数の減少については、秋以降の企業の求人が減少したことが要因。

(d)　シラバスの充実　※認証評価事項

コロナ禍により、春学期はすべて遠隔授業、秋学期は対面授業（同時配信型）と遠隔授業の併用という急な状況変化へ対応しなければならず、シラバスが年度初めに提示していたものと大きく変わることとなった。本来であればシラバスは履修登録（授業開始）前に提示すべきものであるが、2020年度は各学期の開始前後に、特に授業形態や採点方法についての記述を修正することで対応した。

(e)　科目ナンバリングの推進　※認証評価事項

2020年度入学生より明治学院共通科目に加え学科科目もすべてに科目ナンバリングが適用され、カリキュラム全体として体系性・順次性が学生に分かりやすく示されることとなった。

(f)　大学院における定員未充足問題への対応　※認証評価事項

コロナ禍により、入試広報は主にオンラインで展開した。大学院事務室主催の進学説明会（年間6回開催）、進学ガイダンス（学内者限定）、研究計画書の書き方セミナーをZoomで行った。また、優秀な外国人留学生の獲得に繋げるべく初めての試みとして日本語学校教員対象のオンライン相談会（東京、大阪）への参加、中国の動画共有サイト（bilibili）等からの情報配信、Google広告掲出等を行った。

(g)　アクティブ・ラーニングの拡大

担当教員がシラバス上で「アクティブ・ラーニング対応授業」と指定した授業科目については、コロナ禍により、ほとんどの授業で遠隔授業が組み合わされることとなり、その授業運営の工夫の中で、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業が拡大することとなった。

(h)　社会・地域への貢献

1)　ボランティアセンターとの連携　※認証評価事項

2019年度は港区との協働連携推進事業「チャレンジコミュニティ大学」の修了生組織（CCクラブ）によるボランティアプログラムを、ボランティアセンターの"1Day for Others"に初めて提供してもらった。2020年度はさらにプログラム数を増やす予定であったが、コロナ禍により実現できなかった。2021年度は感染防止対策を強化しつつ、連携可能なプログラムを探っていく。

2)　生涯学習環境の充実

2018年度より開設した「明治学院プラチナカレッジ」は当初6シリーズ（計18講座）を企画・広報していたが、期中に対面での講座実施を断念することとなった。しかし、新たにオンラインツールによる講座提供方法を確立し、1シリーズ（計3講座）を提供した。オンラインにすることで、これまで受講生層の大半を占めていた近隣住民に加え、キャンパスとは離れた地域の方や、学生なども受講生として迎えることとなった。

3)　自治体・公共団体との連携強化

第1回東京都社会貢献大賞も受賞した「チャレンジコミュニティ大学」は2007年の開設以来、初めての不開講となったが、CCクラブのメンバーおよび港区とは、オンラインによる会議を実施するなど、継続して良好な関係を築いた。さらに港区との連携で実施している「みなと区民大学」は、全6回をすべてオンライン開講とし、結果として例年以上の受講申し込みがあるなど、コロナ禍においても活発に活動することができた。

島崎藤村ゆかりの長野県小諸市との連携は、「藤村忌」「クリスマスツリー点灯式」「調査研究活動奨励金」などは県をまたぐ移動となることから断念せざるをえなかったが、4年目を迎える自治体推薦入試は実施・継続した。

(i)　MGオリンピック・パラリンピック支援プロジェクト

新型コロナウイルス感染症拡大を受けMGオリンピック・パラリンピック支援プロジェクトも思うような活動ができない1年間となったが、教育の視点からの正課授業を行い、学生組織を中心としたプロジェクトを展開した。

(j)　内なる国際化

2020年度より新たに法律学科と心理学科の参加を得て、「ボランティア実践指導」（ファーストリテイリング財団寄付講座）などの科目を開講し、多文化共生サポーター 31名、多文化共生ファシリテーター 6名の学生を認証した。

また、「難民等外国につながる小中学生のための春休み集中学習支援教室」（社会福祉法人さぽうと２１との共催）、オンラインイベント「多文化 OPINION EXCHANGE　－多様なコミュニティとの繋がりを模索する－」（一般財団法人自治体国際化協会との共催）などを開催した。

**③　入試制度改革の推進**

2021年度入試（2020年度実施）では、次の入試制度改革を行った。

・学校推薦型選抜（系列校特別推薦・指定校推薦）において全学科で面接ないしは小論文を課すこととした。

・大学入試センター試験の後継である大学入学共通テストの利用入試を実施した。

実施にあたっては、文部科学省による試験実施のガイドラインに沿って、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底させた上で試験を行った。

広報面では、ほとんどの高校生対象のイベント（オープンキャンパス、進学相談会、校内ガイダンス等）が中止、あるいは開催形式を変更し規模を縮小して実施せざるをえなくなった。そのため、Webオープンキャンパスなどオンライン形式によるイベント開催や、Webコンテンツによる情報発信を強化した。

**＜過去5年の志願・受験・合格推移＞**

| | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 志願者数 | 27,396 | 32,029 | 28,947 | 23,480 | 23,000 |
| 受験者数 | 26,545 | 31,074 | 27,760 | 22,542 | 22,102 |
| 合格者数 | 8,696 | 6,935 | 6,443 | 6,695 | 7,769 |
| 手続者数 | 3,205 | 2,844 | 2,725 | 2,790 | 2,966 |
| 入学定員 | 2,950 | 2,950 | 2,950 | 2,950 | 2,950 |
| 定員充足率(%) | 108.6 | 96.4 | 92.4 | 94.6 | 100.5 |

＊編入、9月入学を除く

**④　学生へのサポート体制および学業支援（奨学金）の強化**

(a)　教務部における相談支援体制の充実

学生の相談については、これまで窓口で対面のみの受け付けであったが、メールや電話による対応も行い、柔軟に相談を受け付ける体制とした。

(b)　学生への総合サポート体制の充実

1)　健康診断の効率化および健康支援の充実

新型コロナウイルス感染症拡大のため、2020年度は4月実施予定の学内健診を9月に延期した。感染予防対策をとりつつ、①Web問診へ変更②滞在時間を短縮するために受診項目を最小限にとどめる③完全予約制④提携する近隣の健診機関に学外健診と証明書発行サービスを委託するなどにより実施した。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、両キャンパスで以下の対応を行った。

ア　学内の感染症対策用品として、手指消毒用アルコールボトルの追加設置、非接触型検温計（ハンディタイプ）の貸出、非接触型検温計（タブレットタイプ）の設置を行った。

イ　対面授業・課外活動の段階的再開希望に対し、学生の行動範囲が広がり感染リスクが高まったことを受けて、呼吸器感染症が専門の学校医の協力を受け、学部学科、学内各部署へのコンサルテーションを実施した。

ウ　学食や学生ラウンジについて、校医指導のもと、パーテーションの設置や各座席に着席不可シールを貼るなど飛沫感染防止対策を講じた。

2)　発達障がい（傾向を含む）をもつ学生を意識した就労等支援の充実

2020年度は秋学期のみオンラインで11月11日～12月9日に全5回の講座を実施した。

3)　多文化共生を担う学生サポートスタッフの育成

学生サポートスタッフ（主に聴覚障がい学生支援のノートテイカー）の養成テキストが完成し、対面での講座・練習を補完するオンライントレーニングシステムも完成した。

2021年3月時点でのノートテイカー数は50名となった。

(c)　横浜キャンパスにおける学生サポート

1)　通学対策

横浜キャンパスの通学問題が解決をみた。行政（横浜市・戸塚区）・江ノ電バス・本学の協議により、2021年4月下旬より、戸塚駅東口バスロータリー内の降車レーンより、本学行急行

バスの運行が開始されることとなった。また、あわせてこれまで大学から戸塚駅に向かう一部の便だけで使用できた特割回数券（通称：100円バス券）を戸塚駅・大学間の全バス便において利用できることにした。

2）横浜キャンパスプロジェクトの推進

春学期はコロナ禍により、各プロジェクトの活動を行うことはできなかった。秋学期はヤギ除草の開始、キャンパスコンシェルジュの活動再開、J.C.バラ・プログラムやチャリティライブを完全オンラインにより開催した。また例年行っていたエコキャンパスうちわデザインコンテストに代わり、レジ袋有料化に伴う「エコキャンパス・エコバッグデザインコンテスト」を開催した。

(d) 図書館における学生の主体的学びの推進

1）図書館でのトータルな学習支援の実践

対面での学習支援活動ができなくなったため、オンラインで利用できるサービスを拡充した。図書館ホームページへのコロナ対応特設サイトの設置による電子資料の情報の集約、一部データベースのアクセス数増加、オンラインレファレンスの実施、オリエンテーション、ガイダンスのコンテンツを動画で作成、公開した。また、来館できない学生のために郵送による貸出、文献複写物の提供サービスを行った。

2）横浜図書館のICT環境を活用した学生の主体的学びの推進

改修後5年となる横浜図書館の利用実態を把握するため、学生、教員にアンケートを実施した。その結果をふまえ、機器等の設備とアクティブラーニングに対応した運用を計画する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、閲覧席を制限、グループ利用も停止となり、具体的な計画と実施には至らなかった。

(e) 高等教育無償化制度への対応

文部科学省による高等教育の修学支援新制度が2020年4月から実施されたことに伴い、経済支援を目的としたヘボン給付奨学金および白金の丘奨学金について規程改正を行った。これにより、従来、学内奨学金の受給額が低かった学生に対し、より手厚い支援が可能となった。

また、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で（雇用の喪失や収入の急減など）家計が急変し勉学の継続に支障をきたした学生を対象に、「新型コロナウイルス感染症対応給付奨学金」および「私費外国人留学生緊急給付金（新型コロナウイルス感染症対応）」を新設した。実績として、新型コロナウイルス感染症対応給付奨学金は学部生延べ273名（総支給額：109,200,000円）、大学院生1名（支給額：400,000円）、私費外国人留学生緊急給付金（新型コロナウイルス感染症対応）は学部生100名（総支給額：19,700,000円）、大学院生23名（総支給額：4,600,000円）に奨学金を支給した。

**⑤ 施設および設備の充実**

(a) 教室・実習室のICT設備機器のHDMI対応

教室・実習室におけるICT設備機器については、2020年度にシステム更新工事（白金5教室、横浜8教室）を実施したことで、ビデオプロジェクターを含めたAVシステムのHDMI対応教室数は、白金・横浜・高輪校舎全教室203室のうち162室となった。

＊HDMI：High-Definition Multimedia Interface パソコンとディスプレイを接続する規格のひとつ。1本のケーブルで、映像・音声を合わせて送受信することが可能。

またコロナ対策の一環で《対面授業（同時配信併用）》と《遠隔授業（オンデマンド／同時配信）》を実施する環境整備として、以下を実施した。

1）教室AVシステムのハウリング対策を白金28教室、横浜32教室にて実施し、小教室では会議用集音マイク・スピーカーシステムを白金26式、横浜10式を導入した。また、ほぼ全教室に書画カメラを設置し、PC内蔵カメラでは捉えづらい板書やスクリーンを含めた画角の授業映像を配信できるようにした。

2）遠隔授業の同時配信や遠隔授業（オンデマンド）用の動画教材制作に対応するため、スタジオ教室を白金10教室、横浜12教室整備した。

3）上記で発生する学内ネットワーク通信量の増大に対し、無線LANアクセスポイントの追加設置を白金62台、横浜41台行った。

4）教室やスタジオ教室での教員負担を軽減するため、業務委託スタッフと学生アルバイトを新規に契約しサポート体制を構築した。また新システムを含めた利用マニュアル整備や問合せ対応にも別途スタッフを増員し利用者へのサポートにあたった。

(b) 課外活動施設不足の解消

既存施設の有効活用の観点から、戸塚グラウンド黎明館の多目的グラウンドを人工芝化する計画についての検討を進めた。

(c) 防災対策

白金、横浜両キャンパスとも、継続して以下の対策を進めた。

1)　防災備蓄品の新規購入および更新（特に横浜では備蓄食の補充および災害用トイレ薬剤の更新）を行った。また、エレベーターが停止した際に歩行困難な人を降ろす非常用階段避難車を両キャンパスに設置した。
2)　キャンパスごとの防災訓練を定期的に実施した。
3)　地域貢献として、白金では帰宅困難者・滞留者等の受入れ施設として機能するよう検討した。横浜では行政（戸塚区）・本学双方にて締結した「災害ボランティア活動拠点の設置に関する協定」について内容の再確認（チェック）を行った。
4)　非構造部材（天井材等）の落下防止工事について､白金はパレットゾーン白金の第1アリーナ、横浜は8号館1階のインターナショナルラウンジとC館2階・3階の食堂、6号館1階・2階の3教室が完了した。
5)　2019年度に教務部が導入した「時間割アプリ」（スマートフォンアプリ）について、災害時の情報伝達ツールとしても利用できるようプッシュ通知機能を追加した。

(d)　環境問題への取り組み

トイレ改修工事では節水型器具を採用して、白金キャンパスでは本館地下1階、横浜キャンパスでは1号館の全フロアーを施工した。

2015年度に横浜キャンパスで完成した自律（自立）型エネルギーの設備において設置した太陽光パネルでは2020年度の1年間で約107,701kw／年の発電があり、雨水・井水の利用で254㎥／年の節水となり環境負荷の低減と省エネに寄与している。白金キャンパスに於いても雨水の利用で3,215㎥／年の節水となった。

**⑥　広報活動の展開**

2020年度の数値目標では、日経BP社の「大学ブランド・イメージ調査」のランキングで、首都圏ノミネート校120校中､上位20位（2019年度：25位）に入ることを目指したが､結果は23位となった。

各広報活動については、以下により展開した。

(a)　ターゲットを見据えた広報展開

2020年4月より、SNSの中でも若年層の利用が多いInstagramでの発信を強化し、大学生にとって役立つツールとして使ってもらうべく投稿内容を厳選した。また、大学からの情報発信がわかりやすく在学生の手元に届くよう、Webサイトやポータルサイト内のニュースを集め、積極的に周知した。各SNSとも順調にフォロワー数を伸ばしている。

(b)　プレスリリースの強化

コロナ禍において、対面でのイベントが軒並み中止になったこともあり春学期は一時的にプレスリリースの回数が減ったが、Webページのコンテンツにおいて教育内容を充実させ、その内容をリリースするというサイクルを構築した。また、奨学金給付等の取り組みや秋学期からはオンラインイベントについて、積極的にリリースを行った。

(c)　大学Webページの充実

動画コンテンツ「明学の理由。」を、コロナ禍における新しい大学生活を伝えるものとして製作・公開した。またWebサイトにおける重要なコンテンツとして「明学×人」において、教員の研究や取り組みをインタビューして掲載し、それをリリースとSNSで周知するサイクルを構築した。

**⑦　その他**

(a)　勤務員の就労環境の見直し

2020年度は、教育研究補助職および特別嘱託職員の任用に関する規程の見直しを優先的に行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う勤務員の就労環境の整備を優先的に行った。

(b)　ハラスメント防止・対策に関する啓発活動

2020年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年実施している対面での講演会は行なわず、厚生労働省のホームページ情報を参考にパワハラチェックリストを作成し、各学部（教養教育センター含む）教授会、部次長会・課長会等それぞれの方法で実施した。

(c)　若年層の校友会諸活動活性化

2020年度はコロナ禍の影響から、校友の集い他の行事を中止とした。若年層を対象とするイベント「MGクリスマスビュッフェを楽しもう！」については、クリスマスプレゼントを提供する企画に切り替えて実施した。

**⑶　教育研究の概要**

**①　教育方針に関する情報**

「人材養成上の目的・教育目標」および3ポリシー（カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、アドミッション・ポリシー）を改定し、ホームページ等で公開している。

**https://www.meijigakuin.ac.jp/about/doforothers/**

② **教員の保有学位、業績に関する情報**

教員の保有学位や研究業績については、ホームページで公開している。

**https://gyoseki.meijigakuin.ac.jp/mguhp/KgApp**

③ **卒業者数、卒業後の進路に関する情報**

2020年度の卒業・修了者数（満期退学者含む）、卒業・修了後の進路については、以下の通り。

（2021年5月1日現在）

（大学）　（人）

| 大学 | | 合計 | | | 文学部 | | | 経済学部 | | | 社会学部 | | | 法学部 | | | 国際学部 | | | 心理学部 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 卒業者 | | 1109 | 1936 | 3045 | 93 | 406 | 499 | 414 | 405 | 819 | 164 | 345 | 509 | 299 | 299 | 598 | 76 | 247 | 323 | 63 | 234 | 297 |
| 進路内訳 | 就職・既職者 | 921 | 1666 | 2587 | 71 | 336 | 407 | 356 | 358 | 714 | 147 | 308 | 455 | 245 | 263 | 508 | 56 | 204 | 260 | 46 | 197 | 243 |
| | 大学院進学者 | 23 | 38 | 61 | 3 | 7 | 10 | 4 | 2 | 6 | 1 | 4 | 5 | 9 | 6 | 15 | 4 | 3 | 7 | 2 | 16 | 18 |
| | 大学・短期大学進学者 | 1 | 4 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| | 専修学校･外国の大学等進学者 | 4 | 17 | 21 | 2 | 6 | 8 | 1 | 1 | 2 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 6 | 7 | 0 | 2 | 2 |
| | 一時的な仕事に就いた者(※1) | 24 | 53 | 77 | 3 | 20 | 23 | 4 | 7 | 11 | 5 | 10 | 15 | 4 | 9 | 13 | 3 | 5 | 8 | 5 | 2 | 7 |
| | 上記以外の者(※2) | 117 | 139 | 256 | 13 | 34 | 47 | 42 | 32 | 74 | 11 | 14 | 25 | 33 | 18 | 51 | 10 | 26 | 36 | 8 | 15 | 23 |
| | 不詳等（死亡を含む） | 19 | 19 | 38 | 1 | 3 | 4 | 7 | 4 | 11 | 0 | 5 | 5 | 8 | 3 | 11 | 2 | 3 | 5 | 1 | 1 | 2 |

※１　一時的な仕事に就いた者：卒業後、パート、アルバイトなどの臨時的な収入を目的とした仕事に就いた者。

※２　上記以外の者：卒業後、進学でも就職でもないことが明らかな者。

（例）進学準備中の者、就職準備中の者、公務員・教員採用試験・国家試験の準備中である者など。

（修士・博士前期課程）　（人）

| 修士・博士前期課程 | | 合計 | | | 文学研究科 | | | 経済学研究科 | | | 社会学研究科 | | | 国際学研究科 | | | 心理学研究科 | | | 法と経営学研究科 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 修了者 | | 17 | 34 | 51 | 2 | 13 | 15 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 3 | 2 | 0 | 2 | 3 | 12 | 15 | 7 | 8 | 15 |
| 進路内訳 | 就職・既職者 | 10 | 24 | 34 | 2 | 11 | 13 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 11 | 13 | 4 | 2 | 6 |
| | 大学院進学者 | 1 | 3 | 4 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| | 大学・短期大学進学者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 専修学校･外国の大学等進学者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一時的な仕事に就いた者(※1) | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 上記以外の者(※2) | 4 | 6 | 10 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 | 1 | 2 | 4 | 6 |
| | 不詳等（死亡を含む） | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |

※１　一時的な仕事に就いた者：修了後、パート、アルバイトなどの臨時的な収入を目的とした仕事に就いた者。

※２　上記以外の者：修了後、進学でも就職でもないことが明らかな者。

（博士後期課程）　（人）

| 博士後期課程 | | 合計 | | | 文学研究科 | | | 経済学研究科 | | | 社会学研究科 | | | 法学研究科 | | | 国際学研究科 | | | 心理学研究科 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 修了者 | | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 進路内訳 | 就職・既職者 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 大学院進学者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 大学・短期大学進学者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 専修学校･外国の大学等進学者 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一時的な仕事に就いた者(※1) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 上記以外の者(※2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 不詳等（死亡を含む） | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

※１　一時的な仕事に就いた者：修了後、パート、アルバイトなどの臨時的な収入を目的とした仕事に就いた者。

※２　上記以外の者：修了後、進学でも就職でもないことが明らかな者。

④ **教育課程に関する情報**

各学科・研究科のカリキュラムおよび卒業までの流れ、各授業科目の内容・授業の方法並びに授業計画の概要を記載したシラバスについては、ホームページで公開している。また、2020年度生より、科目ナンバリングを適用し、授業の体系性・順次性を学生にわかりやすく示している。

各学科･研究科のカリキュラムおよび卒業までの流れ　**https://www.meijigakuin.ac.jp/academics/**

シラバス　**https://kyomu.meijigakuin.ac.jp/kyomu/UnSSOLoginControlFree**

⑤　学修の成果に係る評価および卒業の認定に当たっての基準に関する情報
各授業科目の成績評価の基準については、ホームページで公開している。
https://www.meijigakuin.ac.jp/disclosure/

⑥　環境に関する情報
所在地や主な交通手段・キャンパスの概要については、ホームページで公開している。
所在地　https://www.meijigakuin.ac.jp/disclosure/campus.html
交通アクセス　https://www.meijigakuin.ac.jp/access/
キャンパスの概要　https://www.meijigakuin.ac.jp/campus/

⑷　管理運営の概要

明治学院大学、明治学院高等学校、明治学院東村山高等学校および明治学院中学校を設置する学校法人明治学院理事会が学校法人の最高決議機関であり、教授任用等の重要事案はすべて理事会の審議事項となっているが、大学の運営については、学校教育法の定める所属職員（教職員）の「統督」者としての学長の権限と機能が充分に尊重されている。

大学における決議機関は、月1回開かれる「教授会」および「大学評議会」であるが、学部の改廃等の重要な案件については学長が随時招集する「連合教授会」にて審議されることになっている。上記の決議機関に加え、本学には、各学部の意見調整および教授会への提案事項等を協議する「学部長会」、学長、副学長4名、学長室長、大学事務局長、大学事務局次長によって構成され、事実上のガバナンスを行っている「大学執行部会議」があり、前者は月2回、後者は毎週開催されている。

このほか、学生部長の諮問機関である「学生部委員会」や教務部長の諮問機関である「教務部委員会」等の「各種委員会」があり、それぞれの専門的な事案を協議している。「各種委員会」でまとめられた重要な案件は、「大学執行部会議」および「学部長会」で検討した後、「教授会」を経て「大学評議会」で決定され、必要に応じて理事会に付議されている。

## ３．明治学院高等学校

### ⑴　事業計画

〔教育・研究における重点分野〕

①　キリスト教教育
②　カリキュラムの検討と学力の向上
③　生徒の多様な進路実現のための、きめ細かな指導
④　中高大連携の推進
⑤　高校校舎改築
⑥　行事・課外活動の充実
⑦　教育研究活動の充実
⑧　「総合的な探究の時間」の整備・発展
⑨　国際交流活動の推進
⑩　防災教育・訓練、熱中症対策等の強化
⑪　スクールコンプライアンス

〔生徒の募集計画〕

⑫　入試広報部会を中心とした取り組みの充実
⑬　推薦試験合格者への働きかけ
⑭　過去の入試状況
⑮　2021年度生募集計画
⑯　広報活動

〔その他の特記事項〕

⑰　『保護者の手引き』の作成

〔大学合格者数の実績〕

⑱　2017 ～ 2020年度大学合格者数

### ⑵　事業計画の進捗状況

〔教育・研究における重点分野〕

①　キリスト教教育

明治学院高等学校は、「隣人を自分のように愛しなさい。」（マタイによる福音書第22章39節）という聖書の御言葉を基盤とし、ヘボン、ブラウン、フルベッキなど学院創立にあたった宣教師の建学の精神を受け継いできた。教育理念は「福音主義キリスト教に基づく人格教育、愛と平和、周囲の人びとを思いやる教育」であり、この教育理念にそって、具体的な活動をすすめてきた。

日々の礼拝はキリスト者教職員、講師、学院長、学院牧師、準宣教師（英語礼拝）が中心となって行い、月1回を目安にキリスト者ではない教職員によるアッセンブリー（講話）を実施した。また、礼拝暦に基づき、特別礼拝を教会の牧師、学校の教師、社会活動に従事しているキリスト者を招いて実施した。コロナ禍の中ではあったがなるべくチャペルでの礼拝を重視した。そのために、学年を二つに分け半分をチャペルで半分はチャペルの礼拝を同時中継したり、チャペル・教室とそれぞれ独立した放送礼拝を行ったりした。また、緊急事態宣言下では全学年合同の放送礼拝を行った。

(a)　特別礼拝　　（敬称略）

| 特　別　礼　拝 | 講　　師 |
|---|---|
| 1 ～ 3年イースター礼拝 | 中止 |
| 1年母の日礼拝 | 中止 |
| 1 ～ 3年ペンテコステ礼拝 | 中止 |
| 1、2年教育週間礼拝 | 高村富美子（横浜ＹＭＣＡ） |
| 2年教育週間礼拝 | 小田哲郎（ＡＣＥＦ） |
| 3年教育週間礼拝 | 新田義昭（ユーラシアビジョン） |
| 1、2年クリスマス礼拝 | 上野峻一（本校聖書科教諭） |
| 3年クリスマス礼拝 | 増田将平（青山教会牧師） |
| 3年卒業礼拝 | 藤掛順一（指路教会牧師、明治学院評議員） |
| 1、2年信教の自由を守る日特別礼拝 | 森島豊（青山学院大学総合文化政策学部准教授、大学宗教主任） |

(b)　生徒と共に行ったキリスト教活動

・聖書について語る会
　2020年度は中止

・明治学院にかかわる故宣教師・先達者の墓地清掃と墓前礼拝

| 実施日 | 場　所 | 参加者 |
|---|---|---|
| 11月9日 | 青山霊園 | 生徒18名、教員5名 |

・白金クリスマスツリー点灯式（共催）

| 実施日 | 場　所 | お　話 |
|---|---|---|
| 11月20日 | 礼拝堂 | 村田玲音（明治学院大学学長） |

・アドヴェント礼拝

| 実施日 | 場　所 | お　話 | 参加者 |
|---|---|---|---|
| 11月27日 | 礼拝堂 | 林巖雄（本校聖書科講師） | 約300名 |

・宿泊研修会
2020年度は中止
・クリスマス献金の呼びかけ
保護者や生徒へ呼びかけキリスト教福祉団体等27団体へ贈った。
・生徒から受洗者が複数出たので、教員有志から記念品を贈った。

(c)　教職員の聖書理解を深める教育活動

| 活　動 | 講師・内容 |
|---|---|
| 教職員聖書講話 | 2020年度は中止 |
| 聖書を読む会 | 教職員自由参加の集まりとして<br>2020年度は中止 |
| シェアリング メッセージ ミーティング | 御言葉を共有する教職員有志の集まり<br>2020年度は中止 |

※その他、教職員会議は毎回祈りをもって始めた。

(d)　学院オルガニストによるパイプオルガン講座を、生徒15名が受講した。

(e)　からし種（キリスト教活動広報誌）は2020年度2回発行（キリスト教教育週間、信教の自由を守る日）し、キリスト教諸行事の理解を深めた。

(f)　1年生に対する教会への導きとして「キリスト教の手引き」に紹介ページを掲載。

(g)　学院年間聖句の位置づけ
年度最初の教職員会議や入学式保護者説明会、学年PTA、「保護者の手引き」、「学校案内」などで年間聖句を取り上げ、生徒、保護者、教職員への定着を目指した。

**②　カリキュラムの検討と学力の向上**

(a)　1年次では偏りのないカリキュラム、2・3年次では多様な進路を見すえた選択カリキュラムを実施した。

(b)　『学習の手引き2020』（必修および選択科目の案内）を作成し、事前に教科内容を提示・説明するなど丁寧な指導を心がけた。

(c)　語学への意欲を喚起するためにブックリスト（文庫100冊、新書100冊、英語多読図書100冊など）を作成し、教科と協力して読書指導をすすめた。また休校中は、郵送による図書の貸し出しを行い自宅学習の助けとした。

(d)　全学年対象に、日常的には教科の苦手な生徒への補習、深く学びたい生徒を対象にした講習、さらに春期講習を実施した。

(e)　音楽・美術・書道などの芸術科目についても十分に学ぶ時間をとった。また、家庭科において被服実習、消費者教育など、社会に出てから役立つような授業にも重点を置き実施したが、コロナ禍で調理実習は中止した。情報科では2020年度の新カリキュラムを見据えてアルゴリズムやHTMLの学習、ICT社会で活用できるような基礎知識の学習などに取り組んだ。

(f)　2・3年の選択授業では、生徒の能力を高めるために多彩な授業を展開した。具体的には、様々な文章に接し書くことによって日本語の表現力と読解力をつける「文章表現法」、英語で考え英語を使ってスピーチ・ディベート・ディスカッション・劇などを行なう「English Activities」など様々な授業を行い、生徒の能力を高めてきた。

(g)　自由選択では韓国語講座、フランス語講座を実施した。

(h)　数学の授業の充実をはかるため、2年生の必修科目において習熟度別授業を実施した。国語科でも選択授業等で緩やかな習熟度別授業を実施した。

(i)　2022年度文部科学省による新学習指導要領の実施に合わせ、新カリキュラムを検討した。作成にあたっては、「幅広く学べるカリキュラムで真の学力を身につけさせ、受験にも対応できるようにする」ことを基本方針とした。
(j)　仮設校舎の各教室に電子黒板を設置し授業に活用した。
(k)　2020年度はコロナ禍のため4月1日～5月31日までを休校とした。その間、課題を郵送したり、ポータルサイトを通しての教材配信などで家庭学習をサポートした。6月2日には分散して入学式を行い、ガイダンス期間を経て、時差・分散登校にて学校生活を開始した。1学期は8月19日まで行い、夏休みは8月20日～31日までとした。この学暦変更によって授業数は十分確保できた。
(l)　コロナ禍においても授業は対面学習を重視してきたが、リモートラーニングとしてGoogle Classroomを導入した。

**③　生徒の多様な進路実現のための、きめ細かな指導**

(a)　「一人ひとりを大切にする進路指導」により「生徒のさまざまな夢をサポート」することを基本方針とし、具体的な指導をすすめた。
(b)　学年ごとの指導
2020年度はコロナ禍の影響で例年通り実施できないものが多くあった。

| | 指導目標 | 指導内容 | 具体的活動 | 学年通信 |
|---|---|---|---|---|
| 1年生 | 基礎学力を培い視野を広げる | 基礎学力の養成に努めるとともに、さまざまな価値観・生き方を知ることによって将来の可能性を広げる | 進路ガイダンス、進路適性検査(学びみらいPASS)、全国模擬テスト、明治学院大学を知る会など | ほっぷ |
| 2年生 | 個性を確立し、進む道を見つける | 自らが将来何をしたいのか、そのための実現方法を考え行動する | 進路適性検査（GAKUTAN)、全国模擬テストなど<br>各大学教員による出張講義は直前に中止とした | すてっぷ |
| 3年生 | 進路の実現に向けて飛躍する | 学力の確立に努める | 明治学院大学学部学科説明会(オンライン)、面接指導、全国模擬テスト、推薦試験説明会、大学入学共通テスト説明会など | じゃんぷ |

(c)　全校の生徒・保護者に向けて『2020年度 進路の手引き』を発行した。緊急事態宣言により作成が例年よりも遅くなったため、内容をGoogle Classroomに先行掲載し、冊子は10月に配付した。
(d)　大学入試のための補習・講習を実施するとともに、一人ひとりの進路に合わせた指導を行った。

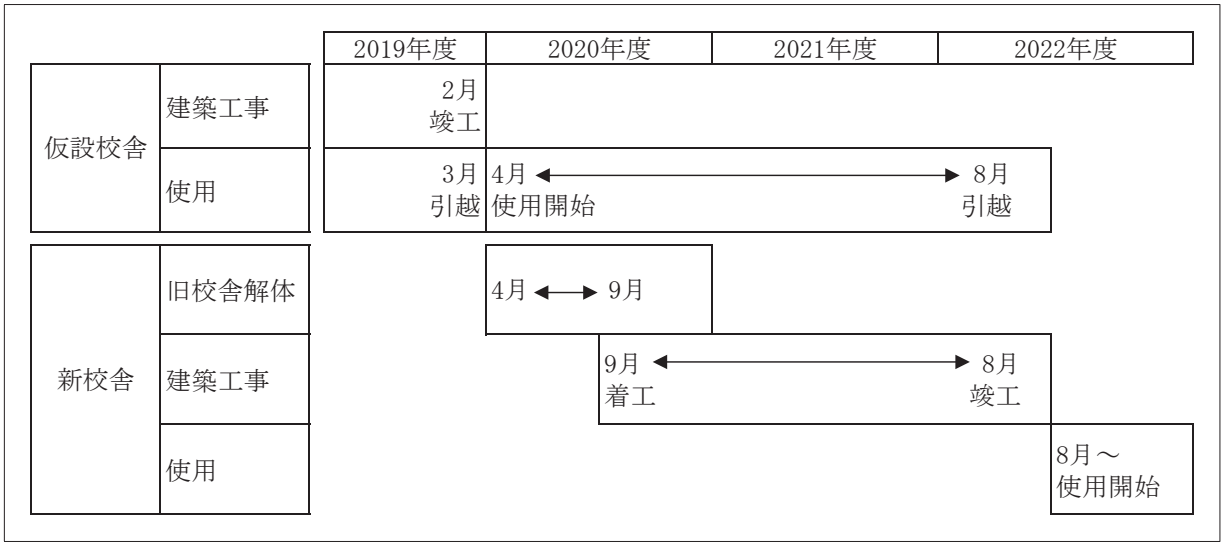
**④　中高大連携の推進**

(a)　明治学院大学系列校特別推薦入試の結果
2020年度は明治学院大学系列校特別推薦制度により137名、高校3年生全在籍者の42.8％が明治学院大学に進学した。明治学院大学への近年の進学率は、2017年度28.8％、2018年度が38.3％、2019年度が43.1％、2020年度が42.8％となっている。
(b)　2020年度は希望者が少なかったため「大学入門講座」は閉講となった（2021年度は開講)。
(c)　明治学院大学入学前教育として行われる事前課題の実施､並びに明治学院大学主催「J.C.バラ・プログラム」(2020年度はオンライン実施）に大学・東村山高校と協力して取り組んだ。
(d)　明治学院大学から教育実習生3名を受け入れ、教育実習を指導した（全教育実習生7名)。
(e)　教育ビジョンに基づき、2・3年生対象の法学部ゼミ体験はコロナ禍のため中止となった。
(f)　高大接続の一環として明治学院大学入学を志す希望者を対象にしたTOEFL講座はコロナ禍のためスケジュールが合わず2020年度は高校生の参加はできなかった。
(g)　3年生の3学期に生徒のニーズに合わせて本校教諭による特別講座を開き、大学への準備の学習および教養的学習を行った。
(h)　教育ビジョンプログラム（タイ・パヤオプロジェクト）はコロナ禍のため現地に行くことはできなかったが、クリスマスにオンラインで交流会を持った。

**⑤　高校校舎改築**

(a)　仮設校舎が2月に竣工、3月に引越しをして4月から使用開始した（授業開始は6月～)。

【校舎改築スケジュール】




(b)　4月から旧校舎解体に着手し9月に完了、その後新校舎建築に着工した。
(c)　新校舎建築募金のご案内を6月と12月に発送した。(目標額：1億円、募集期限：2022年7月)
(d)　7～8月に体育館のトイレ・階段の改修工事（新校舎仕様）を実施した。
(e)　部活動での外部施設への生徒送迎のためにマイクロバス（リース契約）を稼働、運行した。

⑥　行事・課外活動の充実

(a)　2020年度はコロナ禍の中で多くの行事（校外HR、水泳大会、合唱コンクール）が中止せざるを得ない状況になった。その中でもいくつかの行事において、どのようにしたら実施できるか検討して実施した（文化祭：オンライン実施、体育祭：二日に分けて開催など)。実施にあたっては生徒会・委員会活動・クラブ活動など、生徒たちが協働し、自主的にすすめて行えるように努めた。
(b)　学習とクラブ活動（課外活動）のバランスをとって､豊かな高校生活を過ごせるよう指導した。

＜部活動等実績＞

| クラブ名 | 実　　績 |
|---|---|
| ブラスバンド部 | 東京都高等学校アンサンブルコンテスト　銀賞 |
| 写真部 | 写真甲子園東京ブロック決勝進出<br>東京都高等学校写真連盟Web大会入賞（2作品）<br>私立中学高等学校協会作品展入賞（2作品）<br>東京都高等学校文化祭（写真部門中央大会）入選（7作品）うち1作品が「最優秀賞」受賞<br>「東京都高等学校文化連盟会長賞」および「年間優秀賞」受賞<br>「関東地区写真連盟写真展」東京都代表（奨励賞）<br>「全国高等学校総合文化祭」(和歌山大会）東京都代表選出 |
| 書道同好会 | 東京都高等学校文化連盟書道展　会長奨励賞 |

(c)　例年夏に実施していたＹＭＣＡのボランティア（学童保育、こども園）活動や3年生対象のインターンとしての幼稚園保育実習はコロナ禍のため中止となった。
(d)　生徒を取り巻く教育状況、現代の生徒の心理、本校の生徒の様子について、カウンセリング委員会を開き、情報交換し、教職員に発信した。また、管理職とのカンファレンスも定期的に開いた。

⑦　教育研究活動の充実

(a)　生徒を取り巻く教育環境や現代の生徒の心身の状況について、学年会、クラスPTAなどを通して、教職員、養護教諭、スクールカウンセラー、保護者がともに学び、話し合う機会をもった。
(b)　教員免許更新制度の推移を見守りながら、該当者は研修受講が保障されるよう校務の便宜をはかった。

⑧　「総合的な探究の時間」の整備・発展

(a)　例年、1年生全員を対象に行っているガイダンス合宿はコロナ禍のため中止となったが、ガイダンス期間中に「キリスト教と明治学院」､「明治学院の建学の精神と歴史」などをテーマに授業を行った。
(b)　2年生は､「教師と生徒がともに生き方を考えていく独自の体験・研修旅行」を実施した。下

記コースに分かれて1年間の授業を行い、探究的な学習を深めた。
・「田舎暮らし」農作業体験をしながら田舎の暮らしを学ぶ（新潟県魚沼市）
・「長崎」歴史・異国情緒あふれる文化・平和・キリスト教を学ぶ
・「沖縄」歴史・文化・平和・自然を学ぶ
・「京都」歴史・文化・衣食住・宗教を学ぶ
・「韓国」歴史・文化の学習
・「台湾」歴史・教育・宗教・文化の学習

⑨　**国際交流活動の推進**

(a)　3月末～4月初頭で行われているオーストラリア研修は、新型コロナウイルス拡散抑止のため中止とした（2年連続）。

(b)　JET（The Japan Exchange and Teaching）Programmeを利用した外国語指導助手（ALT）を引き続き任用し、外国語教育の充実と異文化交流の促進を図った。

⑩　**防災教育・訓練、熱中症対策等の強化**

(a)　東京私立中学高等学校協会第二支部と連携し、災害時の情報伝達訓練を実施した（9月）。

(b)　生徒が3日間生活できることを想定し、災害対策用の備品（食糧、水、マット、災害用ブランケット、簡易トイレ等）を整備し、緊急時に備えた。

(c)　AED（自動体外式除細動器）を要所に設置している。毎年行っている教職員対象のAEDの講習会は、2020年度は中止とした。

(d)　新型コロナウイルス感染症拡大抑止のため、いわゆる3密を避けられる環境の整備を行った。また、手指や備品の消毒のための機器や薬品を整備した。
・新規に、次亜塩素酸液製造器、サーモグラフィー4台、非接触型体温計約40台、図書滅菌器などの機材を導入した。
・教室の消毒については､共用部は業者､教室内は消毒液を要所に置き各自が持参したティッシュなどで拭いて消毒することとした。
・登校する生徒、教職員全員に体温や体調に関する健康観察などのアンケートをGoogle Formsで提出させ管理した。
・コロナ禍による休校中の生徒のケアとして、相談室は電話相談窓口を設置し対応した。

⑪　**スクールコンプライアンス**

(a)　いじめ防止について、学年会を中心に日常的に情報を集めた。2020年度においては「いじめ」に該当する案件はなかった。

(b)　障害者差別解消法に対応できるよう、新校舎をバリアフリーとする。

(c)　校務全体の検討を行い、業務改善と業務の効率化、選択と集中を行うことで、より教育活動に専念できる体制を構築するための議論を進めた。また、新しい就業形態を作り上げるためのシミュレーションを作成するなど、現在東村山高校とともに検討を進めている。

〔生徒募集〕

⑫　**入試広報部会を中心とした取り組みの充実**

2019年度より導入したWeb出願のシステムを学校見学会などの予約受付などに活用した。

⑬　**推薦試験合格者への働きかけ**

推薦合格者に行っていた基礎力確認テスト（英数国）は2020年度は中止し、入学後に新入生全員を対象に実施することにした。

⑭　**過去の入試状況**

過去3年間の入試応募者数

| 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|---|---|---|
| 1,313名 | 1,508名 | 1,310名 |

⑮　**2021年度生募集**

| | |
|---|---|
| 募集人員 | 男女合計330名（前年度同数） |
| 募集方法 | 推薦入試1回（男女各60名） |
| | 一般入試2回（第1回　男女各75名、第2回　男女各30名） |

コロナ禍のため、推薦入試では通常2回行っている面接を1回とし、一般入試では面接試験をとりやめるなど入試方法の変更を行った。

⑯　**広報活動**

(a)　学校説明会は今年度はオンラインで実施した。また、校舎見学会を実施し仮設校舎の教室や体育館などの設備を見学する機会を設けた（10月、11月2回、12月の計4回）。外部の説明会については、キリスト教学校フェア（オンライン）、私学フェア（オンライン）、地域の説明会に参

加した。

(b)　学校説明会について

参加者数

| 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|---|---|---|
| 2,982組 | 3,008組 | 1,184人 |

※2021年度入試の説明会は校舎見学会としてのみ実施（完全予約制）

(c)　ホームページは、更新の頻度を高くし、カリキュラムの紹介、総合探究の紹介、礼拝でのお話、生徒会・クラブ活動、施設・環境、進路指導、生徒募集など、新しい情報を掲載した。

| 年度 | 2019年度 | | | | 2020年度 | | | | 2021年度 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 種別 | 推薦 | 一般① | 一般② | 計 | 推薦 | 一般① | 一般② | 計 | 推薦 | 一般① | 一般② | 計 |
| 定員 | 120 | 150 | 60 | 330 | 120 | 150 | 60 | 330 | 120 | 150 | 60 | 330 |
| 応募者 | 286 | 654 | 373 | 1,313 | 388 | 610 | 510 | 1,508 | 354 | 578 | 378 | 1,310 |
| 受験者 | 145 | 613 | 286 | 1,044 | 150 | 570 | 397 | 1,117 | 148 | 542 | 294 | 984 |
| 合格者 | 145 | 199 | 70 | 414 | 150 | 170 | 41 | 361 | 148 | 188 | 72 | 408 |
| 入学者 | 145 | 121 | 54 | 320 | 150 | 120 | 40 | 310 | 148 | 119 | 47 | 314 |

〔その他の特記事項〕

⑰　『保護者の手引き』の作成

生徒の学習や生活について、保護者の理解と協力を得るために、2020年度も『保護者の手引き』を作成した。

〔大学合格者数の実績〕

⑱　2017～2020年度大学合格者数

現役浪人合計数。短大・専門学校合格者は除く。

［　］内は一般受験して明治学院大学に合格した数。　　（2021年4月20日現在）

| 主な私立大学合格校 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|---|---|---|---|---|
| 明治学院大学<br>［内　一般受験合格者数］ | 100<br>［5］ | 140<br>［8］ | 134<br>［3］ | 144<br>［3］ |
| 早稲田大学 | 18 | 14 | 13 | 11 |
| 慶應義塾大学 | 11 | 3 | 14 | 12 |
| 上智大学 | 24 | 14 | 27 | 8 |
| 東京理科大学 | 16 | 10 | 5 | 9 |
| 国際基督教大学 | 3 | 1 | 1 | 1 |
| 明治大学 | 40 | 23 | 17 | 23 |
| 青山学院大学 | 22 | 40 | 25 | 25 |
| 立教大学 | 40 | 24 | 36 | 20 |
| 中央大学 | 26 | 16 | 14 | 24 |
| 法政大学 | 41 | 33 | 28 | 20 |
| 学習院大学 | 17 | 10 | 8 | 8 |
| 成蹊大学 | 13 | 12 | 5 | 8 |
| 成城大学 | 8 | 13 | 14 | 11 |
| 日本大学 | 28 | 29 | 31 | 18 |
| 東洋大学 | 20 | 17 | 12 | 19 |
| 駒澤大学 | 1 | 1 | 5 | 7 |
| 専修大学 | 2 | 3 | 10 | 3 |
| 國學院大学 | 1 | 2 | 2 | 10 |
| 武蔵大学 | 1 | | | 2 |
| 津田塾大学 | | 1 | | 3 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 東京女子大学 | 4 | 5 | 8 | 9 |
| 日本女子大学 | 3 | 11 | 10 | 2 |
| 芝浦工業大学 | 7 | 4 | 8 | 4 |
| 東京都市大学 | 4 | 4 | 3 | 6 |
| 東京農業大学 | 5 | | 1 | 9 |
| 同志社大学 | | 1 | | 7 |
| 立命館大学 | 10 | 6 | 7 | 4 |
| 関西学院大学 | 5 | 3 | 6 | 4 |
| 北里大学 | 2 | 2 | 3 | 2 |
| 順天堂大学 | 1 | 2 | 2 | 4 |
| 杏林大学 | | 3 | 3 | 4 |
| 東京薬科大学 | 1 | 1 | 3 | 3 |
| 昭和大学 | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 多摩美術大学 | 2 | 2 | 3 | 4 |

| 国公立大学合格校 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|---|---|---|---|---|
| 金沢美術工芸大学 | | | | 2 |
| 東京外国語大学 | | | 1 | 1 |
| 横浜国立大学 | | 1 | | 1 |
| 高崎経済大学 | 1 | | | 1 |
| 埼玉大学 | | | | 1 |
| 東京海洋大学 | | | | 1 |
| 千葉県立保健医療大学 | | | | 1 |
| 弘前大学 | | | | 1 |
| 筑波大学 | | 2 | | |
| 電気通信大学 | 2 | 1 | | |
| 東京工業大学 | | 1 | | |
| 千葉大学 | | 1 | | |
| 茨城大学 | | 1 | | |
| 宮崎大学 | | 1 | | |
| 奈良女子大学 | | 1 | | |

## ４．明治学院中学校・東村山高等学校

### ⑴　事業計画

〔教育・研究における重点分野〕

①　キリスト教教育
②　学力向上
③　キャリア教育
④　進路指導
⑤　中高大の連携推進
⑥　行事・課外活動
⑦　グローバル教育
⑧　校地整備
⑨　奨学金制度の拡充
⑩　学校評価
⑪　防災・防犯対策の強化
⑫　スクールコンプライアンス

〔生徒の募集計画〕

⑬　募集対策と入試結果

〔その他の特記事項〕

⑭　卒業生（同窓会員）との繋がり、働きかけの強化
⑮　カフェテリア運営業者の変更
⑯　事務室の効率的な業務運営

〔大学合格者数の実績〕

⑰　2017 ～ 2020年度大学合格者数

### ⑵　事業計画の進捗状況

〔教育・研究における重点分野〕

①　キリスト教教育

本校では学院の建学の精神「キリスト教に基づく人格教育」に従い、「贖罪と愛による教育」を教育理念とし、「道徳人・実力人・世界人の育成」を教育目標に、様々な活動を実践しキリスト教教育の充実に努めることとしているが、2020年度は新型コロナウイルス感染防止の観点からいくつかの恒例行事が実施できなかった。

⑻　礼拝および講演会

1）　本校独自の礼拝暦に基づく礼拝は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、従来の講堂・チャペルでの礼拝に代えて、各教室での放送にて守った。

2）　特別礼拝は近隣の教会や学院から牧師・講師を招くのを控え、中高一斉で学内関係者によるWeb礼拝や放送礼拝とした。

3）　3月には「東日本大震災を覚える礼拝」を設け、10年目を迎える被災地を覚えて礼拝を守った。各教室にて佐藤飛文教諭が作成した動画を見る形での礼拝であった。被災地のための「東京－祈りの輪」は2020年度は開催されなかった。

4）　また、信教の自由を守る日講演会は中学と高1は2月17日に、高2は3月1日に、北川善也学院牧師が作成した動画を生徒が各教室で視聴する形で行った。

特別礼拝

| | | |
|---|---|---|
| | イースター礼拝 | 中止 |
| | 家族礼拝 | 中止 |
| 5月30日 | ※ペンテコステ礼拝 | 今村栄児（本校教諭）Web礼拝 |
| 10月24日 | ※宗教改革記念礼拝 | 梅津裕美（本校非常勤講師）放送礼拝 |
| 10月30日 | 創立記念礼拝 | 北川善也（学院牧師）放送礼拝 |
| 11月28日 | 永眠者記念礼拝 | 伊藤節子（本校校長）放送礼拝 |
| 11月30日 | クリスマス点灯式 | 今村栄児（本校教諭）チャペルでの礼拝 |
| 12月24日 | ※クリスマス礼拝 | 伊藤節子（本校校長）<br>放送礼拝／高3はチャペルでの礼拝 |
| 3月８日 | 高3卒業礼拝 | 窪田りり子（本校教諭）チャペルでの礼拝 |
| 3月17日 | 東日本大震災を覚える礼拝 | 佐藤飛文（本校教諭）動画による礼拝 |

注）上記の表中※印の礼拝では献金を行い、総額約77万円を学校周辺の社会福祉施設、神学校、キリスト教諸団体他、合わせて23箇所に送金した。

(b) ボランティア活動

1) 中学ではボランティア学習と体験を重視した活動を各学年で行った。

2) 高校ではフィリピンとの間で23年間CFJ（Child Fund Japan、旧キリスト教国際精神里親運動）のプログラムに参加している。生徒一人毎月100円の支援金により、クラスで一人のチャイルドを支えた。夏休みにはコイン募金に取り組み、31万円をJOCS（日本キリスト教海外医療協力会）に送った。また、コイン募金の中から8万円を、バンコクYMCAを通してエイズ孤児や人身売買・労働搾取の被害から守られている子供たちの施設「パヤオセンター」のために資金援助した。

3) クラブ活動の一環として、中学ハンドベルクワイアが、教会主催のクリスマス賛美礼拝において演奏奉仕を行った。

4) 毎年行っている以下のボランティア活動については、新型コロナウイルス感染防止の観点から見送った。

・中学ハンドベルクワイアによる社会福祉施設等における演奏奉仕
・将棋部による小平市高齢者福祉施設でのお年寄りとの将棋対局
・東日本大震災被災者救援のための、有志高校生による被災地での活動

(c) 生徒のキリスト教懇親会

2018年度より新しい取り組みとして始めた、高校生対象「キリスト教懇親会」は11月24日に1回のみ開催することができた。8名が参加し、学年を越えて大変良い交わりの会が持てた。2021年度も開催する予定である。

(d) その他

例年は年2回程度実施している以下の懇談会・研修会については、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止とした。

・キリスト教教育懇談会（当初、6月17日、11月18日実施予定）
・キリスト教教育研修会（当初、10月2日、3月4日実施予定）

(e) 聖書の授業

中学・高校の新入生には、初めに明治学院の歴史とキリスト教学校で学ぶことの意味を理解させ、新約聖書・旧約聖書・キリスト教史などを学習しながら、生徒が3年ないし6年の間に、自分の人生を聖書のメッセージを通して整えることのできる人間に成長するよう心がけた。また、2019年度に発刊した明治学院共通テキスト「ヤバいぜ！聖書（バイブル）」を中1、中2、高1の授業で使用した。

(f) 宿泊研修・修養会

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、2020年度に予定されていた宿泊研修・修養会は全て中止となった。

② **学力向上**

(a) 授業の充実

2020年度より、中1・高1を対象として一人一台のタブレット端末を導入の上、教職員向けの研修を実施して、利活用推進を図った。授業においてもタブレットを利用した調べ学習や、教育・学習用アプリケーションや映像・動画等の活用がなされた。

(b) 中学

1) 英語教材として「プログレス21」を採用している。その成果として、2学期に実施した全学年でのスピーチコンテストにおいて生徒が自信を持ってスピーチすることが出来た。英語検定の上位級への合格者数は、準2級22名、2級5名となっている。この教授法で効果をあげるためには家庭学習が大切であり、その指導を厳しく行うことが家庭での学習習慣作りとして他教科の学習にも波及効果が認められる。英語力の客観的な評価を得るために後記GTECを全学年で実施している。

2) 数学検定は、中1終了時で5級、中2終了時で4級が目標級となっており、そのあと中3で3級、高1で準2級と続く。2020年度は学年終了レベルよりさらに上位の級を目指す生徒がおり、中学では13名が上位の級に合格している。数学検定は強制ではないが、本校を会場として実施するなど受検を奨励しており、数学の学力向上の励みとなっている。

3) 理科と社会では、例年、野外実地踏査により生徒の興味関心を引き出すことに努めている。2020年度は理科については予定通り実施できたが、社会の校外授業（東京歴史散歩）についてはコロナ禍の影響もあり実施を見送った。

| 学年 | 場　所 | 実施日 | 主な調査目的 |
|---|---|---|---|
| 中2 | 理科校外授業<br>（多摩動物公園） | 10月６日 | 動物の生態を知り特徴と体形骨格等の相関関係を観察する。 |
| 中3 | 理科校外授業<br>（生田緑地） | 11月17日 | 地層・断層等の観察から地史を学ぶ。 |

(c)　東村山高校

1)　数学や英語では習熟度別クラス、少人数クラスの効果的な授業を行うことができた。

2)　高2・高3では進路指導の外部専門業者も活用して学部学科ガイダンスや進路ガイダンスを綿密に行い、明確な職業観を持って自らの進路を開拓できるように促した。

3)　プログレス21は中学に引き続いて全ての学年で使用している。英語は「英検2級に合格して卒業」が目標である。更に上位級の準1級の合格者16名を含め、2級以上には187名が合格している。

(d)　学習プログラム

1)　2020年度高3生は現行の「学習プログラム」適用の9期生であるが、本プログラムに基づいた高3・高2生徒のコース分けは、系列校推薦コースが3クラス、理系受験コースが1クラス、文系受験コースが2クラスとなった。

2)　新しい学習指導要領を基にして、カリキュラム検討委員会を中心に2022年度からの高校のカリキュラムについて検討している。

(e)　外部検定試験の活用

客観的英語教育評価を得るため、中1から高3までを対象に、2020年度もGTEC（Global Test of English Communication）for Studentsを実施した（下表：2020年度結果）。

| 学年 ／ 受検者数 | 平均スコア（3技能） | テストタイプ |
|---|---|---|
| 中1 ／ 143名 | 296点 | CORE |
| 中2 ／ 137名 | 343点 | |
| 中3 ／ 139名 | 407点 | |
| 高1 ／ 257名 | 535点 | STANDARD |
| 高2 ／ 243名 | 589点 | ADVANCED |
| 高3 ／ 254名 | 578点 | |

(f)　補習講習

学習の遅れた生徒には補習をしており、難度の高い学習を希望する生徒向けには講習を設定・実施し、生徒のニーズに応えている。長期休暇中に84講座、始業前および放課後を含め年間で延べ300以上の講座・受験向け講習を実施、多くの生徒が参加し学習に励むことができた。

(g)　ICT教育の充実

2019年度末に新型コロナウイルス感染対策による休校が指示されたため、2020年度当初にはリモート・ラーニングの環境整備を開始した。生徒と教職員全員のGoogle G-Suite（現Google Workspace）のアカウント作成とClassroomの授業・生徒登録を行い、5月第3週より在宅のままオンデマンドで学習できるようにオンライン授業と課題配信を開始した。また、2020年度の中学・高校の新入生への一人一台のタブレット端末（iPad、セルラーモデル）配付を年次的に導入し、授業と自宅学習での活用を開始した。高校校舎3階にも電子黒板プロジェクターとスクリーンの設置工事が完了し、高校全教室への配備が完了した。また中学1階から3階教室へのスクリーン設置工事も行い、中学全教室で同時に固定式または移動式の電子黒板プロジェクターの使用ができるようになった。以上の措置により中学高校全教室でWi-FiとICT機器を活用できる教育環境が整った。

(h)　総合学習・総合探究

中学では、学校の日常生活および体育祭や文化祭での自治的活動、また礼拝を含めたキリスト教教育活動その他の諸行事を通して、教育目標である「道徳人、実力人、世界人の育成」の実現のために､総合学習の時間を用いることが出来た。高校では礼拝で生き方を考えるとともに、キャリアデザイン構築や自分に合った進路選択のためのプログラムを設けて、生徒がそれぞれの進路を拓く力を得ることができるようにした。

**③　キャリア教育**

生徒が自分の「使命（ベルーフ）」について考え発見できる機会を提供するため、明治学院教育ビジョンにおけるキャリア支援会議チームのアクションプランに沿い多様な講師を招き、中学および高校でキャリア講演会を実施した。

| 時　期 | 対象学年 | 講　演　者 |
|---|---|---|
| 2月15日 | 中3 | 廣瀬　健（建築家・株式会社HOUR-Design代表取締役） |
| 3月１日 | 中3 | 柳澤寿男（指揮者） |
| 11月16日 | 高1 | 大谷貴子（全国骨髄バンク推進連絡協議会 前会長） |

**④　進路指導**

(a)　現行の「学習プログラム」に基づく、進路指導の定例会議を毎週行い、各学年の指導状況、取り組みについて検討した。

(b)　高校生に「進路の手引き」を改訂、配付した。大学受験指導のため、外部専門業者の分析データを活用して、高2・高3教員向けの出願指導研修および数回に亘って模試結果の分析報告を行った。

**⑤　中高大の連携推進**

(a)　明治学院大学系列校特別推薦制度の結果

2020年度は明治学院大学系列校特別推薦制度により121名、高校3年全在籍者の47.5％が明治学院大学に進学した。明治学院大学への近年の進学率は下表の通りで、系列校への人気が続いている。

| 年　　度 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|---|---|---|---|---|---|
| 明治学院大学進学率 | 40.2％ | 31.3％ | 43.1％ | 41.5％ | 47.5％ |

(b)　明治学院大学からの教育実習生の受け入れ

法学部2名、国際学部1名、合計3名を受け入れた。

(c)　接続教育の充実

1)　推薦進学コースでは「アカデミックリテラシー」の授業による小論文・面接指導を行った。また、2019年度より、この授業内で実施される大学教授の特別講義が「教養原論」として大学入学後に単位認定されることになった。2020年度は推薦進学コースにて116名が大学の単位を取得することができた。

2)　明治学院大学各学部の入学前教育が行なわれ、入学までの4カ月間、高等教育を受ける準備の時とすることができている。

3)　対象の生徒に対して､6月に「明治学院大学学部学科説明会」､2月には「J.C.バラ・プログラム」を設けて参加を促している。とりわけ、後者は入学前に明治学院大学での生活の一端を体感できる貴重な機会となっており、教職員にとっても、高大接続、一貫教育を推進する上で有意義な機会である。

4)「明治学院一貫教育宣言」により、一貫教育の中身を充実していくことを確認している。その具体化の為の教育ビジョンプロジェクトチームに参加し、明治学院教育ビジョンの実現に取り組んだ。

5)　明治学院教育ビジョンの計画では8月に高大接続の一環として毎年恒例のTOEFL講座を開講予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、参加を見送った。

6)　例年7月に高3推薦進学コースに在籍する生徒を対象に明治学院大学国際センターと連携し留学ガイダンス、留学相談会を実施しているが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見送った。

**⑥　行事・課外活動**

(a)　生徒会・委員会活動・クラブ活動等コロナ禍の影響で制約の多い1年間ではあったが、可能な範囲で自主的に取り組み、充実した学校生活へと繋がるように指導した。予定されていた行事について、研修旅行や修養会等の宿泊・旅行行事の全ては中止としたが、体育祭（高校：9月・中学：10月）、および文化祭（11月）については、規模・内容を縮小しながら実施した。

(b)　クラブ活動（課外活動）の主な実績

1)　中学

| クラブ名 | 主な実績 |
|---|---|
| サッカー部 | 東京都大会出場 |
| ハンドベル部 | TBSこども音楽コンクール優秀賞受賞 |

2)　東村山高校

| クラブ名 | 主な実績 |
|---|---|
| 男子バドミントン部 | 新人戦団体　東京都決勝大会西ブロック　準優勝 |

| | |
|---|---|
| 美術部 | 第65回全日本学生美術展<br>団体　奨励賞（第2位）　個人　特選 3点、佳作 23点 |

⑦　**グローバル教育**

(a)　中学では、夏休みのプログラムとしてカナダ・バンクーバー近郊のアボッツフォードで2週間のサマーキャンプを実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となった。

(b)　高校では、主にアメリカ改革派教会の協力を得てキリスト教信仰に基づいた夏休み40日間ホームステイを実施しているが、2020年度は新型コロナウイルスの影響により中止とした。また、高校3年生対象の英語研修も同じ理由により中止とした。

(c)　近年、ロータリークラブやAYUSA、日中交流センター等の団体を通して長期留学生（1年間）を積極的に受け入れてきている。2020年度は、世界的な新型コロナウイルス感染症拡大のため、国を超えての移動が制限され、留学自体が難しいこと、また、感染拡大防止の観点より留学生を受け入れることはできなかった。

⑧　**校地整備**

(a)　2020年度には、(イ）中学棟トイレ改修、(ロ）講堂棟・チャペル棟の空調設備更新、および、(ハ）道場の空調設備設置（新設）の工事を予定していたが、うち、(イ）および（ロ）についてはコロナ禍の影響で見送りとなった。他方で、(ハ）については、計画段階では2020年度～ 2021年度の二か年に跨って実施の予定であったものを、2020年度内での完工に切り替えて実施した。

(b)　2020年度における法人借入金の完済を機に、中学棟・講堂棟・チャペルの建て替えを目的とした第2号基本金の組み入れ計画を増強する方向で見直した。

⑨　**奨学金制度の拡充**

(a)　中学校・東村山高等学校同窓会との話し合いを進め、中学校で年間を通して学校生活全般において優秀な生徒に対して奨学金を給付する奨学金制度を制定した。2021年度より運用を開始する。

(b)　明治学院「ぶどうの木奨学基金」の新たな対象者（中学生）が加わったことに対して、135もの本校近隣教会等へ「ぶどうの木奨学金」の案内を送付し、制度の周知に努めた。

(c)　本校独自の授業料軽減制度について、従来はその対象が「授業料」のみであったが、2020年度に「教育維持費」および「施設費」を含んだ学納金に拡充の上、2021年度より運用を開始する。

⑩　**学校評価**

(a)　教職員研修（4月4日・6日、11月11日）

4月の2日間は新型コロナウイルス感染症への対応のため休校（実施せず）、11月は各分掌・学年・教科の年度中間総括、および2021年度校長方針の説明の後、株式会社コアネットの岡田育也氏より「ロイロノート、Google Classroomの活用実践」と題した講演と、本校英語科矢崎教諭より「高1英語授業でのロイロノート活用例紹介と簡単な使用法紹介」と題した講演会を行った。

(b)　在校生卒業時アンケートの実施

高3生を対象とした在校生アンケートを実施し、今後の改善点を確認した。

(c)　地域との交流

1)　2007年度から3月最終日曜日に地域住民参加の観桜会を開き、地域との交流の機会としている。2020年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のためやむを得ず中止とした。

2)　登校時に通学路で実施した登校指導の時間が、近隣住民との直接対話の機会としても機能した。

⑪　**防災・防犯対策の強化**

(a)　火事・地震などを想定した防災訓練を実施した（9月）。東京私立中学高等学校協会第11支部と連携し、災害時の伝達訓練を実施した（9月）。

(b)　設置済みAED（自動体外式除細動器6台）の点検を行った。

(c)　災害等に備えて、サージカルマスク、手指消毒薬（アルボナース）の備蓄を更新した。また災害発生時の連絡用に一斉メールを運用している。

(d)　新型コロナウイルス感染症対策として、以下の対策を行った。

1)　サーモグラフィーを3ヶ所に設置し、登校時の検温体制を強化した。

2)　仮設手洗い場を屋外に設置し、生徒登校時の手洗い指導を徹底した。

3)　昼食時の教員による食事指導（手指消毒や会話禁止など）を徹底した。

4)　設備の消毒を毎日行い感染拡大防止に努めた。

⑫　**スクールコンプライアンス**

(a)　いじめ防止対策推進法に基づく対応

「いじめ防止対策基本方針」に基づき、いじめの早期発見のためのいじめ対策委員会の定例化、

学校ポスト、通報のためのスクールサインなど諸方策を継続して実施した。

(b)　障害者差別解消法に基づく対応

特別支援委員会を定例的に開催し、支援が必要な生徒の個別支援計画を作成し、学年や関係部署と共有するなど組織的な対応を行った。

(c)　改正労働基準法等への対応

教員に対する「1年単位の変形労働時間制」の導入を軸に議論を開始した。

〔生徒の募集計画〕

⑬　募集対策と入試結果

(a)　広報活動

2020年度に計画されていた合同学校相談会は、ほとんどが中止かオンライン相談会に変更され、対面で実施できたのは僅か5回延べ12名の勤務員動員に留まった。本校主催学校説明会も新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令状況の推移も考慮しつつ、中止、オンラインでの実施、対面での実施など感染防止対策に努めながらの実施となった。オンライン説明会は予約者が多くなる傾向が見られたが受験に繋がったかは不明である。

公開行事、学校見学、授業見学、クラブ体験は全て中止した。休校や閉鎖の状況も考慮し、中学訪問、塾訪問も行わなかった。

12月には入試に関し感染防止対策をＨＰ上で掲載、また中高とも入試当日の発熱等体調不良による欠席者には追試日を設けた（実際には中学入試にて追試対象者が発生し対応した）。

(b)　入試の状況分析

中学入試は2月1日午後（2科）、2日（4科）、4日（4科）の3回入試となって10年目を迎えた。未だ不透明な部分を残す大学入試改革への漠然とした不安や明治学院大学への進学を希望する受験生の増加から本校の入試は追い風傾向となり応募を増やした。昨年比男子8.9％、女子20.4％の応募者増である。特に第3回入試の受験者増が著しく、4年前（2017年度）の39名から今回4.4倍増となる172名の受験生を得ることができた。

一方、高校推薦入試では、昨年度応募者が定員の2倍を越える状況になったため出願基準を見直した結果、出願者数は定員の1.4倍程度になった。男子運動クラブ推薦による合格者は、野球部4名、バドミントン部3名、ラグビー部3名、アメリカンフットボール部1名の合計11名であった。しかし、一般入試では応募者減（昨年度比25％減）となってしまった。

(c)　入試結果

1)　中学

| 年度 | 2019年度 | | | | 2020年度 | | | | 2021年度 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 日　　程 | 2/1 | 2/2 | 2/4 | 計 | 2/1 | 2/2 | 2/4 | 計 | 2/1 | 2/2 | 2/4 | 計 |
| 定　　員 | 60 | 60 | 20 | 140 | 60 | 60 | 20 | 140 | 60 | 60 | 20 | 140 |
| 応 募 者 | 417 | 302 | 247 | 966 | 429 | 346 | 277 | 1,052 | 485 | 383 | 335 | 1,203 |
| 受 験 者 | 405 | 202 | 102 | 709 | 411 | 245 | 145 | 801 | 464 | 270 | 172 | 906 |
| 合 格 者 | 180 | 91 | 13 | 284 | 156 | 102 | 29 | 287 | 168 | 92 | 15 | 275 |
| 入 学 者 | 73 | 59 | 13 | 145 | 49 | 72 | 23 | 144 | 69 | 61 | 14 | 144 |

2)　高校

| 年度 | 2019年度 | | 2020年度 | | 2021年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 入　　試 | 推薦 | 一般 | 推薦 | 一般 | 推薦 | 一般 |
| 定　　員 | 50 | 70 | 50 | 70 | 50 | 70 |
| 応 募 者 | 72 | 202 | 104 | 226 | 71 | 169 |
| 受 験 者 | 61 | 183 | 67 | 203 | 60 | 146 |
| 合 格 者 | 61 | 121 | 67 | 101 | 60 | 115 |
| 新入学者 | 61 | 63 | 67 | 65 | 60 | 67 |
| 移 行 生 | 134 | | 128 | | 133 | |
| 総入学者 | 258 | | 260 | | 260 | |

(d)　本校ホームページのリニューアル

中学・高校の活動内容や入試に関する情報を掲載・提供していた本校ホームページについて、機能拡充、視認性・操作性向上、および、スマートフォン対応等を目的として全面リニューアルの上、2021年3月にリリースした。

〔その他の特記事項〕

⑭　卒業生（同窓会員）との繋がり、働きかけの強化

例年、11月3日にヘボン祭の東村山同窓会企画として実施してきた「同窓生講演会」および、学校企画である、「同窓生の集まり（36期生の集い）」は、新型コロナウイス感染拡大防止のため、中止とした。同窓会からは、高校卒業生に記念万年筆、クラブ活動に対する援助金、および1月11日にオンラインで開催された卒業生の「成人の集い」に祝い金が送られた。加えて、2021年度より、同窓会による中学生を対象とした奨学金制度の設立が決定した。

⑮　カフェテリア運営業者の変更

中学校・東村山高校では、2020年3月の臨時休校措置以降、カフェテリアの営業を休止していたが、2020年10月より、カフェテリアの運営業者を変更して営業を再開した。再開に際しては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、カフェテリア内の飲食を避け、弁当での提供に限定した。

⑯　事務室の効率的な業務運営

事務室内では、事務長の交替に加えて事務職員1名の産休取得に伴う担当者変更、更には緊急事態宣言発動（臨時休校）時のシフト勤務等があったが、担当者間で円滑な引継ぎ等が行われた。今後も事務室職員の相互補完体制を更に強固にすべく、業務マニュアルの整備等を中心に進めていく。

〔大学合格者数の実績〕

⑰　2017 ～ 2020年度大学合格者数

現役浪人合計。短大・専門学校合格者は除く。

［　］内は一般受験して明治学院大学に合格した数。

| 主な私立大学合格校 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|---|---|---|---|---|
| 明治学院大学<br>［内　一般受験合格者数］ | 79<br>［0］ | 109<br>［1］ | 112<br>［3］ | 121<br>［0］ |
| 早稲田大学 | 5 | 1 | 2 | 6 |
| 慶應義塾大学 | 1 | 1 | 4 | |
| 上智大学 | 3 | 3 | 8 | 3 |
| 東京理科大学 | 2 | 5 | 7 | 4 |
| 国際基督教大学 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| 明治大学 | 10 | 7 | 6 | 7 |
| 青山学院大学 | 4 | 11 | 12 | 5 |
| 立教大学 | 16 | 10 | 8 | 14 |
| 中央大学 | 16 | 13 | 10 | 14 |
| 法政大学 | 16 | 17 | 20 | 19 |
| 学習院大学 | 7 | 6 | 7 | 11 |
| 成蹊大学 | 11 | 9 | 9 | 7 |
| 成城大学 | 8 | 6 | 3 | 4 |
| 日本大学 | 14 | 18 | 18 | 9 |
| 東洋大学 | 15 | 10 | 9 | 13 |
| 津田塾大学 | 6 | 5 | 2 | 1 |
| 東京女子大学 | 11 | 6 | 2 | 3 |
| 日本女子大学 | 6 | 3 | 2 | 2 |
| 武蔵大学 | 5 | 7 | 6 | 5 |
| 芝浦工業大学 | 4 | 3 | 11 | 4 |
| 東京農業大学 | 8 | 4 | 3 | 10 |
| 東京薬科大学 | 2 | 4 | 3 | 8 |
| 埼玉医科大学 | 1 | | | 2 |
| 東京造形大学 | 4 | 3 | | 4 |
| 多摩美術大学 | 3 | 6 | 9 | 2 |
| 武蔵野美術大学 | 3 | 3 | 11 | 5 |

| 国公立大学合格校 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|---|---|---|---|---|
| 北海道大学 | | | | 1 |
| 東京都立大学 | 1 | | 1 | 1 |
| 公立諏訪東京理科大学 | | | | 1 |
| 東京学芸大学 | | | 1 | |
| 金沢大学 | | | 1 | |
| 電気通信大学 | | | 1 | |
| 東京農工大学 | | 1 | | |
| 室蘭工業大学 | 1 | 1 | | |
| 埼玉大学 | | 1 | | |
| 山形大学 | | 1 | | |
| 信州大学 | | 1 | | |
| 東北大学 | 1 | | | |
| 北見工業大学 | 1 | | | |

# 第３章　2020年度財務の概要と経年比較（2016年度～ 2020年度）

## １．財産目録

資産総額　116,618　百万円
　１　基本財産　49,988　百万円
　２　運用財産　66,630　百万円
負債総額　9,520　百万円
純 資 産　107,098　百万円

（単位：百万円）

| 区　　分 | 2020年度末 | |
|---|---|---|
| | | |
| 資産額 | | |
| １ 基 本 財 産 | | |
| 土　　地 | 347,072㎡ | 17,069 |
| 建　　物 | 143,513㎡ | 18,269 |
| 建物付属設備 | 955件 | 4,694 |
| 構 築 物 | 350件 | 1,326 |
| 図　　書 | 1,215,261冊 | 5,585 |
| 教具・校具・備品 | 42,659点 | 1,372 |
| そ の 他 | | 1,670 |
| ２ 運 用 財 産 | | |
| 現 金 預 金 | | 4,854 |
| そ の 他 | | 61,775 |
| | | |
| 資産総額 | | 116,618 |
| | | |
| 負債額 | | |
| １ 固 定 負 債 | | 5,203 |
| 長期借入金 | | 351 |
| 退職給与引当金 | | 4,844 |
| 長期未払金 | | 7 |
| ２ 流 動 負 債 | | 4,316 |
| 短期借入金 | | 1 |
| そ の 他 | | 4,315 |
| | | |
| 負債総額 | | 9,520 |
| | | |
| 純資産 | | 107,098 |
| | | |

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示

## ２．貸借対照表

（単位：百万円）

| 科　　目 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 資産の部 | | | | | |
| 固定資産 | 99,585 | 102,340 | 105,367 | 108,642 | 110,508 |
| 有形固定資産 | 48,663 | 48,611 | 48,479 | 49,199 | 49,771 |
| 土地 | 17,005 | 17,069 | 17,069 | 17,069 | 17,069 |
| 建物（含付属設備） | 23,782 | 23,500 | 23,284 | 23,435 | 22,964 |
| 構築物 | 1,571 | 1,674 | 1,565 | 1,446 | 1,326 |
| 教育研究用機器備品 | 871 | 875 | 962 | 1,116 | 1,302 |
| 管理用機器備品 | 46 | 45 | 55 | 76 | 69 |
| 図書 | 5,379 | 5,425 | 5,496 | 5,508 | 5,585 |
| その他 | 7 | 20 | 46 | 547 | 1,452 |
| 特定資産 | 50,641 | 53,549 | 56,490 | 59,074 | 60,416 |
| 第2号基本金引当特定資産 | 13,401 | 13,800 | 14,825 | 14,995 | 14,594 |
| 第3号基本金引当特定資産 | 7,128 | 8,443 | 9,468 | 10,468 | 10,768 |
| 退職給与引当特定資産 | 5,014 | 4,964 | 4,929 | 4,890 | 4,844 |
| 国際交流引当特定資産 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 |
| チャペルオルガン引当特定資産 | 20 | 16 | 11 | 0 | 0 |
| 減価償却引当特定資産 | 21,203 | 22,527 | 23,880 | 25,332 | 26,847 |
| 山岳事故緊急対策積立引当特定資産 | 11 | 11 | 11 | 11 | 11 |
| 法人基金引当特定資産 | 3,088 | 3,087 | 3,085 | 3,081 | 3,080 |
| 創立150周年記念寄付引当特定資産 | 486 | 415 | 0 | 0 | 0 |
| 日本近代音楽館引当特定資産 | 193 | 193 | 193 | 193 | 184 |
| その他の引当特定資産 | 89 | 86 | 80 | 97 | 81 |
| その他の固定資産 | 280 | 179 | 397 | 368 | 320 |
| 長期貸付金 | 100 | 54 | 48 | 42 | 36 |
| その他 | 180 | 124 | 348 | 325 | 283 |
| 流動資産 | 6,917 | 6,796 | 6,721 | 6,266 | 6,110 |
| 現金預金 | 6,086 | 5,974 | 5,467 | 5,771 | 4,854 |
| 有価証券 | 0 | 0 | 500 | 0 | 0 |
| その他 | 831 | 821 | 753 | 494 | 1,255 |
| 資産の部合計 | 106,503 | 109,136 | 112,088 | 114,908 | 116,618 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 負債の部 | | | | | |
| 固定負債 | 5,408 | 5,202 | 5,028 | 5,246 | 5,203 |
| 長期借入金 | 387 | 226 | 92 | 352 | 351 |
| 退職給与引当金 | 5,014 | 4,964 | 4,929 | 4,890 | 4,844 |
| 長期未払金 | 6 | 11 | 7 | 3 | 7 |
| 流動負債 | 4,379 | 4,058 | 4,162 | 4,181 | 4,316 |
| 短期借入金 | 161 | 161 | 135 | 90 | 1 |
| 前受金 | 2,836 | 2,569 | 2,490 | 2,506 | 2,684 |
| その他 | 1,381 | 1,327 | 1,536 | 1,584 | 1,631 |
| 負債の部合計 | 9,788 | 9,261 | 9,190 | 9,428 | 9,520 |
| 純資産の部 | | | | | |
| 基本金 | 103,327 | 105,995 | 108,661 | 110,783 | 112,410 |
| 第１号基本金 | 81,602 | 82,526 | 83,124 | 84,068 | 85,777 |
| 第２号基本金 | 13,401 | 13,800 | 14,825 | 14,995 | 14,594 |
| 第３号基本金 | 7,128 | 8,443 | 9,468 | 10,468 | 10,768 |
| 第４号基本金 | 1,194 | 1,224 | 1,242 | 1,249 | 1,269 |
| 繰越収支差額 | △ 6,612 | △ 6,120 | △ 5,763 | △ 5,302 | △ 5,312 |
| 翌年度繰越収支差額 | △ 6,612 | △ 6,120 | △ 5,763 | △ 5,302 | △ 5,312 |
| 純資産の部合計 | 96,714 | 99,874 | 102,898 | 105,480 | 107,098 |
| 負債及び純資産の部合計 | 106,503 | 109,136 | 112,088 | 114,908 | 116,618 |

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示

**◆貸借対照表についての説明**

●**貸借対照表**：学校法人明治学院の財政状況が健全であるかどうか、また教育・研究のために必要な資産を保有しているかを表している。

●**資産**：2020年度末の資産合計は、116,618百万円となり、前年度比1,710百万円（1.5％）増加した。

●**資産の内訳**：固定資産は110,508百万円となり、前年度比1,865百万円（1.7％）増加した。その中で、将来の特定の支出に備えるために資金を留保している「特定資産」が前年比1,341百万円（2.3％）増加した。
流動資産は、6,110百万円となり、前年度比155百万円（2.5％）減少した。

●**負債**：2020年度末の負債合計は、9,520百万円となり、前年度比92百万円（1.0％）増加した。

●**借入金**：2020年度に90百万円の借入金を返済し、年度末における長期と短期を合わせた借入金残高は353百万円となった。また借入金利息として2百万円を支払った。

●**基本金**：2020年度末合計は112,410百万円となり、前年度比1,627百万円（1.5％）増加した。

●**純資産の部**：学校法人を永続的に維持するために保持しなければならない純資産（基本金＋翌年度繰越収支超過額）が、107,098百万円となり、前年度比1,617百万円（1.5％）増加した。

## ３．資金収支計算書

（単位：百万円）

| 科　　目 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 収入の部 | | | | | |
| 学生生徒等納付金収入 | 14,882 | 15,369 | 15,211 | 14,995 | 14,687 |
| 手数料収入 | 801 | 904 | 842 | 731 | 708 |
| 寄付金収入 | 142 | 124 | 134 | 168 | 153 |
| 補助金収入 | 1,572 | 1,679 | 1,764 | 1,917 | 2,305 |
| 国庫補助金収入 | 810 | 828 | 912 | 1,057 | 1,450 |
| 地方公共団体補助金収入 | 761 | 850 | 851 | 859 | 852 |
| その他補助金収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 資産売却収入 | 15,252 | 10,426 | 8,765 | 16,881 | 18,426 |
| 付随事業・収益事業収入 | 194 | 194 | 197 | 208 | 132 |
| 受取利息・配当金収入 | 1,008 | 1,124 | 1,080 | 1,122 | 1,172 |
| 雑収入 | 634 | 532 | 557 | 407 | 525 |
| 借入金等収入 | 1 | 1 | 1 | 351 | 0 |
| 前受金収入 | 2,836 | 2,569 | 2,490 | 2,506 | 2,684 |
| その他の収入 | 810 | 893 | 1,154 | 1,163 | 1,453 |
| 資金収入調整勘定 | △ 3,243 | △ 3,329 | △ 3,039 | △ 2,864 | △ 3,149 |
| 当年度資金収入合計 | 34,893 | 30,491 | 29,160 | 37,589 | 39,100 |
| 前年度繰越支払資金 | 5,926 | 6,086 | 5,974 | 5,467 | 5,771 |
| 収入の部合計 | 40,819 | 36,577 | 35,134 | 43,057 | 44,872 |
| 支出の部 | | | | | |
| 人件費支出 | 10,063 | 9,943 | 9,966 | 9,858 | 10,130 |
| （内、退職金支出） | (518) | (426) | (431) | (242) | (463) |
| 教育研究経費支出 | 4,089 | 4,346 | 4,462 | 4,519 | 5,100 |
| 管理経費支出 | 1,050 | 1,043 | 992 | 1,100 | 1,048 |
| 借入金等利息支出 | 11 | 8 | 5 | 2 | 2 |
| 借入金等返済支出 | 161 | 161 | 162 | 135 | 91 |
| 施設関係支出 | 1,367 | 1,031 | 813 | 1,675 | 1,807 |
| 設備関係支出 | 330 | 340 | 650 | 549 | 555 |
| 資産運用支出 | 17,618 | 13,567 | 12,739 | 19,456 | 20,703 |
| その他の支出 | 759 | 813 | 687 | 832 | 1,359 |
| 資金支出調整勘定 | △ 719 | △ 652 | △ 814 | △ 844 | △ 779 |
| 当年度資金支出合計 | 34,733 | 30,603 | 29,666 | 37,285 | 40,018 |
| 翌年度繰越支払資金 | 6,086 | 5,974 | 5,467 | 5,771 | 4,854 |
| 支出の部合計 | 40,819 | 36,577 | 35,134 | 43,057 | 44,872 |

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示

**◆資金収支計算書についての説明**

●**資金収支計算書**：2020年度中の諸活動に対応するすべての資金の収入と支出の内容を明らかにする計算書である。
●**当年度資金収入合計**：2020年度は、39,100百万円となり、前年度比1,511百万円（4.0％）増加した。
●**収入の部合計**：前年度繰越支払資金5,771百万円を加えた収入の部合計は44,872百万円となった。
●**当年度資金支出合計**：2020年度の資金支出の合計額は40,018百万円となり、前年度比2,733百万円（7.3％）増加した。
●**翌年度繰越支払資金**：収入の部合計と当年度資金支出合計の差額が翌年度繰越支払資金となる。2020年度は4,854百万円の繰越をすることになり、前年度より917百万円減少した。

## ４．活動区分資金収支計算書

（単位：百万円）

| | | 科　　目 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育活動による資金収支 | 収入 | 学生生徒等納付金収入 | 14,882 | 15,369 | 15,211 | 14,995 | 14,687 |
| | | 手数料収入 | 801 | 904 | 842 | 731 | 708 |
| | | 特別寄付金収入 | 126 | 111 | 120 | 142 | 134 |
| | | 経常費等補助金収入 | 1,456 | 1,563 | 1,754 | 1,831 | 2,117 |
| | | 付随事業収入 | 194 | 194 | 197 | 208 | 132 |
| | | 雑収入 | 634 | 532 | 557 | 407 | 525 |
| | | 教育活動資金収入計 | 18,096 | 18,675 | 18,684 | 18,317 | 18,306 |
| | 支出 | 人件費支出 | 10,063 | 9,943 | 9,966 | 9,858 | 10,130 |
| | | 教育研究経費支出 | 4,089 | 4,346 | 4,462 | 4,519 | 5,100 |
| | | 管理経費支出 | 1,050 | 1,043 | 992 | 1,100 | 1,048 |
| | | 教育活動資金支出計 | 15,203 | 15,332 | 15,421 | 15,477 | 16,279 |
| | | 差引 | 2,892 | 3,343 | 3,262 | 2,840 | 2,026 |
| | | 調整勘定等 | 83 | △ 268 | 21 | 227 | 42 |
| | | 教育活動資金収支差額 | 2,976 | 3,074 | 3,283 | 3,068 | 2,069 |
| 施設整備等活動による資金収支 | 収入 | 施設設備寄付金収入 | 15 | 12 | 13 | 25 | 19 |
| | | 施設設備補助金収入 | 115 | 115 | 9 | 86 | 187 |
| | | 第2号基本金引当特定資産取崩収入 | 252 | | | 410 | 811 |
| | | 施設整備等活動資金収入計 | 383 | 128 | 23 | 522 | 1,018 |
| | 支出 | 施設関係支出 | 1,367 | 1,031 | 813 | 1,675 | 1,807 |
| | | 設備関係支出 | 330 | 340 | 650 | 549 | 555 |
| | | 第2号基本金引当特定資産繰入支出 | 425 | 399 | 1,025 | 581 | 410 |
| | | 減価償却引当特定資産繰入支出 | － | － | 1,352 | 1,451 | 1,515 |
| | | 施設整備等活動資金支出計 | 2,123 | 1,770 | 3,842 | 4,257 | 4,289 |
| | | 差引 | △ 1,740 | △ 1,642 | △ 3,818 | △ 3,734 | △ 3,270 |
| | | 調整勘定等 | △ 73 | 28 | 81 | △ 76 | △ 175 |
| | | 施設整備等活動資金収支差額 | △ 1,813 | △ 1,613 | △ 3,737 | △ 3,811 | △ 3,446 |
| | | 小計（教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額） | 1,163 | 1,460 | △ 453 | △ 743 | △ 1,376 |
| その他活動による資金収支 | 収入 | 借入金等収入 | 1 | 1 | 1 | 351 | 0 |
| | | 有価証券売却収入 | 15,252 | 10,426 | 8,765 | 16,881 | 18,426 |
| | | その他の資産売却収入 | | | | 0 | |
| | | 保証金精算収入 | | | | 0 | |
| | | 貸付金回収収入 | 20 | 48 | 26 | 18 | 17 |
| | | 退職給与引当特定資産取崩収入 | 66 | 84 | 104 | 59 | 96 |
| | | 国際交流引当特定資産取崩収入 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| | | チャペルオルガン引当特定資産取崩収入 | 4 | 4 | 4 | 11 | |
| | | 減価償却引当特定資産取崩収入 | | 67 | － | － | － |
| | | 法人基金引当特定資産取崩収入 | | 1 | 2 | 3 | 0 |
| | | 日本近代音楽館引当特定資産取崩収入 | | 0 | | | 9 |
| | | その他の引当特定資産取崩収入 | 4 | 3 | 5 | 3 | 16 |
| | | 創立150周年記念寄付引当特定資産取崩収入 | 15 | 70 | 415 | | |
| | | 立替金回収収入 | | | 45 | 150 | |
| | | 仮払金精算収入 | | | 0 | 0 | |
| | | 預け金回収収入 | 12 | 14 | 15 | 15 | 15 |
| | | 預り金受入収入 | 47 | 16 | 42 | 15 | 110 |
| | | 仮受金受入収入 | | | | 1 | |
| | | 小計 | 15,426 | 10,740 | 9,429 | 17,515 | 18,693 |
| | | 受取利息・配当金収入 | 1,008 | 1,124 | 1,080 | 1,122 | 1,172 |
| | | その他の活動資金収入計 | 16,434 | 11,864 | 10,509 | 18,637 | 19,866 |
| | 支出 | 借入金等返済支出 | 161 | 161 | 162 | 135 | 91 |
| | | 有価証券購入支出 | 14,584 | 10,426 | 9,265 | 16,381 | 18,426 |
| | | 第3号基本金引当特定資産繰入支出 | 1,145 | 1,315 | 1,025 | 1,000 | 300 |
| | | 退職給与引当特定資産繰入支出 | 34 | 34 | 69 | 21 | 50 |
| | | 国際交流引当特定資産繰入支出 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| | | 減価償却引当特定資産繰入支出 | 1,423 | 1,391 | － | － | － |
| | | その他の引当特定資産繰入支出 | 4 | | | 20 | |
| | | 貸付金支払支出 | 12 | 15 | 17 | 12 | 9 |
| | | 立替金支払支出 | 42 | 65 | | | 0 |
| | | 仮払金支払支出 | 0 | 0 | | | 0 |
| | | 預け金支払支出 | 14 | 15 | 15 | 14 | 520 |
| | | 仮受金支払支出 | 2 | 1 | 0 | | 6 |
| | | 小計 | 17,426 | 13,428 | 10,556 | 17,587 | 19,405 |
| | | 借入金等利息支出 | 11 | 8 | 5 | 2 | 2 |
| | | その他の活動資金支出計 | 17,438 | 13,437 | 10,562 | 17,590 | 19,407 |
| | | 差引 | △ 1,003 | △ 1,572 | △ 52 | 1,047 | 458 |
| | | 調整勘定等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他の活動資金収支差額 | △ 1,003 | △ 1,572 | △ 52 | 1,048 | 458 |
| 支払資金の増減額（小計+その他の活動資金収支差額） | | | 159 | △ 111 | △ 506 | 304 | △ 917 |
| 前年度繰越支払資金 | | | 5,926 | 6,086 | 5,974 | 5,467 | 5,771 |
| 翌年度繰越支払資金 | | | 6,086 | 5,974 | 5,467 | 5,771 | 4,854 |

## ５．事業活動収支計算書

（単位：百万円）

| | | 科　　目 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 教育活動収支 | 事業活動収入の部 | 学生生徒等納付金 | 14,882 | 15,369 | 15,211 | 14,995 | 14,687 |
| | | 手数料 | 801 | 904 | 842 | 731 | 708 |
| | | 寄付金 | 126 | 111 | 120 | 142 | 134 |
| | | 経常費等補助金 | 1,456 | 1,563 | 1,754 | 1,831 | 2,117 |
| | | 国庫補助金 | 702 | 743 | 912 | 985 | 1,270 |
| | | 地方公共団体補助金 | 754 | 819 | 841 | 845 | 845 |
| | | その他補助金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | | 付随事業収入 | 194 | 194 | 197 | 208 | 132 |
| | | 雑収入 | 639 | 533 | 596 | 432 | 545 |
| | | 教育活動収入計 | 18,101 | 18,677 | 18,723 | 18,342 | 18,326 |
| | 事業活動支出の部 | 人件費 | 10,035 | 9,893 | 9,970 | 9,844 | 10,104 |
| | | （内退職給与引当金繰入額） | (491) | (376) | (436) | (228) | (437) |
| | | 教育研究経費 | 5,392 | 5,644 | 5,736 | 5,892 | 6,675 |
| | | （内、減価償却額） | (1,302) | (1,298) | (1,273) | (1,373) | (1,575) |
| | | 管理経費 | 1,171 | 1,136 | 1,073 | 1,177 | 1,130 |
| | | （内、減価償却額） | (120) | (93) | (79) | (77) | (82) |
| | | 徴収不能額等 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 教育活動支出計 | 16,599 | 16,675 | 16,780 | 16,915 | 17,910 |
| | | 教育活動収支差額 | 1,502 | 2,002 | 1,943 | 1,426 | 415 |
| 教育活動外収支 | 事業活動収入の部 | 受取利息・配当金 | 1,008 | 1,124 | 1,080 | 1,122 | 1,172 |
| | | その他の教育活動外収入 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 教育活動外収入計 | 1,008 | 1,124 | 1,080 | 1,122 | 1,172 |
| | 事業活動支出の部 | 借入金等利息 | 11 | 8 | 5 | 2 | 2 |
| | | その他の教育活動外支出 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 教育活動外支出計 | 11 | 8 | 5 | 2 | 2 |
| | | 教育活動外収支差額 | 996 | 1,116 | 1,074 | 1,119 | 1,170 |
| 経常収支差額 | | | 2,498 | 3,118 | 3,018 | 2,546 | 1,585 |
| 特別収支 | 事業活動収入の部 | 資産売却差額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他の特別収入 | 138 | 138 | 37 | 127 | 223 |
| | | 施設設備国庫補助金 | 108 | 84 | 0 | 72 | 180 |
| | | 施設地方公共団体補助金 | 6 | 31 | 9 | 14 | 6 |
| | | その他 | 23 | 22 | 21 | 40 | 35 |
| | | 過年度修正額 | | | 6 | | |
| | | 特別収入計 | 138 | 138 | 37 | 127 | 223 |
| | 事業活動支出の部 | 資産処分差額 | 58 | 86 | 32 | 91 | 191 |
| | | その他の特別支出 | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 |
| | | 特別支出計 | 58 | 96 | 32 | 91 | 191 |
| | | 特別収支差額 | 79 | 41 | 5 | 35 | 31 |
| 基本金組入前当年度収支差額 | | | 2,578 | 3,160 | 3,023 | 2,582 | 1,617 |
| 基本金組入額合計 | | | △ 2,383 | △ 2,667 | △ 2,666 | △ 2,121 | △ 1,630 |
| 当年度収支差額 | | | 195 | 492 | 357 | 461 | △ 12 |
| 前年度繰越収支差額 | | | △ 6,823 | △ 6,612 | △ 6,120 | △ 5,763 | △ 5,302 |
| 基本金取崩額 | | | 15 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 翌年度繰越収支差額 | | | △ 6,612 | △ 6,120 | △ 5,763 | △ 5,302 | △ 5,312 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 事業活動収入計 | 19,249 | 19,940 | 19,842 | 19,592 | 19,721 |
| 事業活動支出計 | 16,670 | 16,780 | 16,818 | 17,009 | 18,104 |

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示

**◆事業活動収支計算書および基本金についての説明**

●**学生生徒等納付金**：学則や募集要項で所定の額を納入すべき旨が記載されているもので、授業料、入学金、実験実習料、施設設備資金等がある。2020年度は学院全体で14,687百万円となり、前年度比308百万円（2.1%）減少した。

●**手数料**：入学検定料が主な収入である。2020年度は708百万円となり、志願者数が減少したため前年度比23百万円（3.2%）減少した。

●**補助金**：国庫補助金と地方公共団体補助金が主な収入である。2020年度は学院全体で2,117百万円となり、前年度より286百万円（15.7%）増加した。主な要因は、大学の経常費補助金および修学支援新制度による教育授業料等減免費交付金の増加である。

●**事業活動収入計**：学校法人の収入のうちで、負債とならない収入の総額である事業活動収入計は、19,721百万円となり、前年度より129百万円（0.7%）増加した。

●**人件費**：2020年度は退職給与引当金繰入額が208百万円、教員人件費が11百万円、職員人件費が39百万円増加したことにより、人件費総額は10,104百万円となり、前年度比259百万円（2.6%）増加した。

●**教育研究経費**：2020年度の教育研究経費は6,675百万円となり、前年比782百万円（13.3%）増加した。

●**事業活動支出計**：2020年度の事業活動支出計は18,104百万円となり、前年比1,094百万円（6.4%）増加した。

●**当年度収支差額**：2020年度は12百万円の支出超過となり、前年比473百万円（102.7%）減少した。

●**基本金の種類と目的**：第1号基本金は、学校の設置や既設の規模の拡大等で教育の用に供されるために取得した固定資産の価額で、2020年度末で85,777百万円（前年度比1,708百万円増）となる。
第2号基本金は学校の設置や既設の規模の拡大等で教育の用に供されるために将来取得する固定資産の取得に充てる資産額で、2020年度末で、14,594百万円（前年度比401百万円減）を保有している。
第3号基本金は、基金の運用から得られる果実を奨学金等の特定の目的に充てるために、基金として継続的に保持する資産額で、2020年度末には10,768百万円（前年度比300百万円増）を保有している。
第4号基本金は、恒常的に保持すべき資金額で「人件費＋教育研究経費＋管理経費＋借入金利息」の合計の1/12（1カ月分）となっている。2020年度末には1,269百万円（前年度比20百万円増）を保有している。

## 6. 財務比率検証

### ⑴ 財務比率について

2020年度決算数値による財務比率は下記のとおりである。

《2020年度事業活動収支計算書関係比率》

| 比率名称 | | | 指標 | 2020年度本学決算 | 2019年度大学法人平均 |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | 人件費比率 | （人件費／経常収入） | ▼ | 51.8％ | 【48.3％】 |
| ② | 人件費依存率 | （人件費／学生生徒等納付金） | ▼ | 68.8％ | 【77.3％】 |
| ③ | 教育研究経費比率 | （教育研究経費／経常収入） | △ | 34.2％ | 【38.5％】 |
| ④ | 管理経費比率 | （管理経費／経常収入） | ▼ | 5.8％ | 【6.6％】 |
| ⑤ | 基本金組入後収支比率 | （事業活動支出／（事業活動収入－基本金組入額）） | ▼ | 100.1％ | 【102％】 |
| ⑥ | 学生生徒等納付金比率 | （学生生徒等納付金／経常収入） | △ | 75.3％ | 【62.5％】 |

《2020年度貸借対照表関係比率》

| 比率名称 | | | 指標 | 2020年度本学決算 | 2019年度大学法人平均 |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | 純資産構成比率 | （純資産／負債＋純資産） | △ | 91.8％ | 【86.2％】 |
| ② | 固定比率 | （固定資産／純資産） | ▼ | 103.2％ | 【101.8％】 |
| ③ | 流動比率 | （流動資産／流動負債） | △ | 141.6％ | 【220.4％】 |
| ④ | 負債比率 | （総負債／純資産） | ▼ | 8.9％ | 【16.1％】 |
| ⑤ | 退職給与引当特定資産保有率 | （退職引当特定資産／退職給与引当金） | △ | 100.0％ | 【66.3％】 |
| ⑥ | 基本金比率 | （基本金／基本金要組入額） | △ | 100.0％ | 【97.1％】 |

※【　】内は学生数10,000人以上の私立大学法人平均
（日本私立学校振興・共済事業団の資料による）
※指標：一般的な評価「△：高い値が良い」「▼：低い値が良い」

### ⑵ 点検・評価および改善目標について

（特長）

・事業活動収支計算書関係比率の中で特に、学生生徒等納付金比率が私学事業団大学法人平均を大きく上回っている。このことは私立学校としての本分である授業料等の収入が主体で運営されている、いわば財政的に健全体質である証ともいえる。
・借入金を計画的に返済してきた結果、順調に負債比率を改善することができ、私学事業団大学法人平均値を下回っている。
・12種類の財務比率の中で、8つの比率で私学事業団大学法人平均より優位な数値となっている。

（課題）

・教育研究経費比率については、2年続けて前年を上回り、かつ30％台を継続したものの、平均値までは到達しなかった。
・学生生徒等納付金比率が高いことの裏返しで、それ以外の収入の比率が低いといえる。学生生徒等納付金以外の事業活動収入項目を模索する必要がある。

（改善目標）

・人件費比率は51.8％となった。人件費構造の見直しについては今後も検討課題であるため、引き続き抜本的改革の実施を検討する。
・教育研究経費比率をさらに向上させ、教育研究に寄与する財政構造となることを目指す。
・学生生徒等納付金以外の収入を増やし、より充実した財政基盤の確立を図る。

## ７．監事による監査報告書

# 「監事監査報告書」

2021年5月21日

学校法人 明治学院
　　理 事 会　御中

私たち学校法人明治学院監事 辻 泰一郎、永嶺 雄三は、私立学校法第37条第3項及び寄附行為第23条の定めに従い、2020年4月1日から2021年3月31日までの本法人の業務及び財産の状況並びに理事の業務執行の状況を監査しました。その結果について以下のとおり報告します。

### １．監査方法の概要

監事は全ての常務理事会、理事会、評議員会に陪席し意見を述べたほか、理事長、学院長、学長、高校長、中学・東村山高校長、総務担当理事、財務理事など業務執行理事から業務の報告を聴取するとともに、重要部局の責任者にヒアリングを行いました。それらを通じて学院の現況及び将来の展望（事業計画、中期計画等）、教学全般の状況（入試、就職、明治学院教育ビジョン、補助金の採択状況等）、法人の法務関連の対応状況、並びに財務の状況について把握するように努めました。

監査の実施にあたっては、会計監査人であるＥＹ新日本有限責任監査法人から報告及び重要事項についての説明を受けて意見の交換を行い、またその実査にも立ち会いました。さらに、業務監査を実施し、重要な決裁書類の提出を受けてこれを閲覧し、監査しました。

### ２．監査の結果

⑴　法人の業務に関しては、不正の行為がなく、かつ、法令及び寄附行為に違反する重大な事実はなく、建学の精神に立って良質な教育を実践するために妥当で有効な運営が行われていると認めました。

⑵　法人の財産の状況に関しては、報告されている資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び財産目録は適正であり、法令及び寄附行為に従って法人の財産及び資金・事業活動収支の状況を正確に示しており、財産運用の健全性と透明性を確保していると認めました。

⑶　理事の業務執行に関しては、上記⑴及び⑵を踏まえ適正に行われていると認めました。

### ３．その他の所見

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、遠隔（オンライン）授業による感染対策や学生・生徒への緊急支援対策を実施するなど、明治学院運営に携わる皆様が迅速かつ適切に対応したことを評価します。引き続き各種対策の実施並びに教育研究活動の更なる充実に取り組むことを望みます。

学校法人明治学院

監　事　辻　　泰一郎　㊞

監　事　永　嶺　雄　三　㊞

明治学院広報（別冊）
編集　　法人事務室（内線5167）
発行責任者　理事長　山﨑　雅男

VEGETABLE OIL INK
「明治学院広報」は地球環境保護のために、再生紙および大豆油インキを使用しております。